



召喚魔法大失敗！ 連続絶頂地獄



魔法界

暇だなー

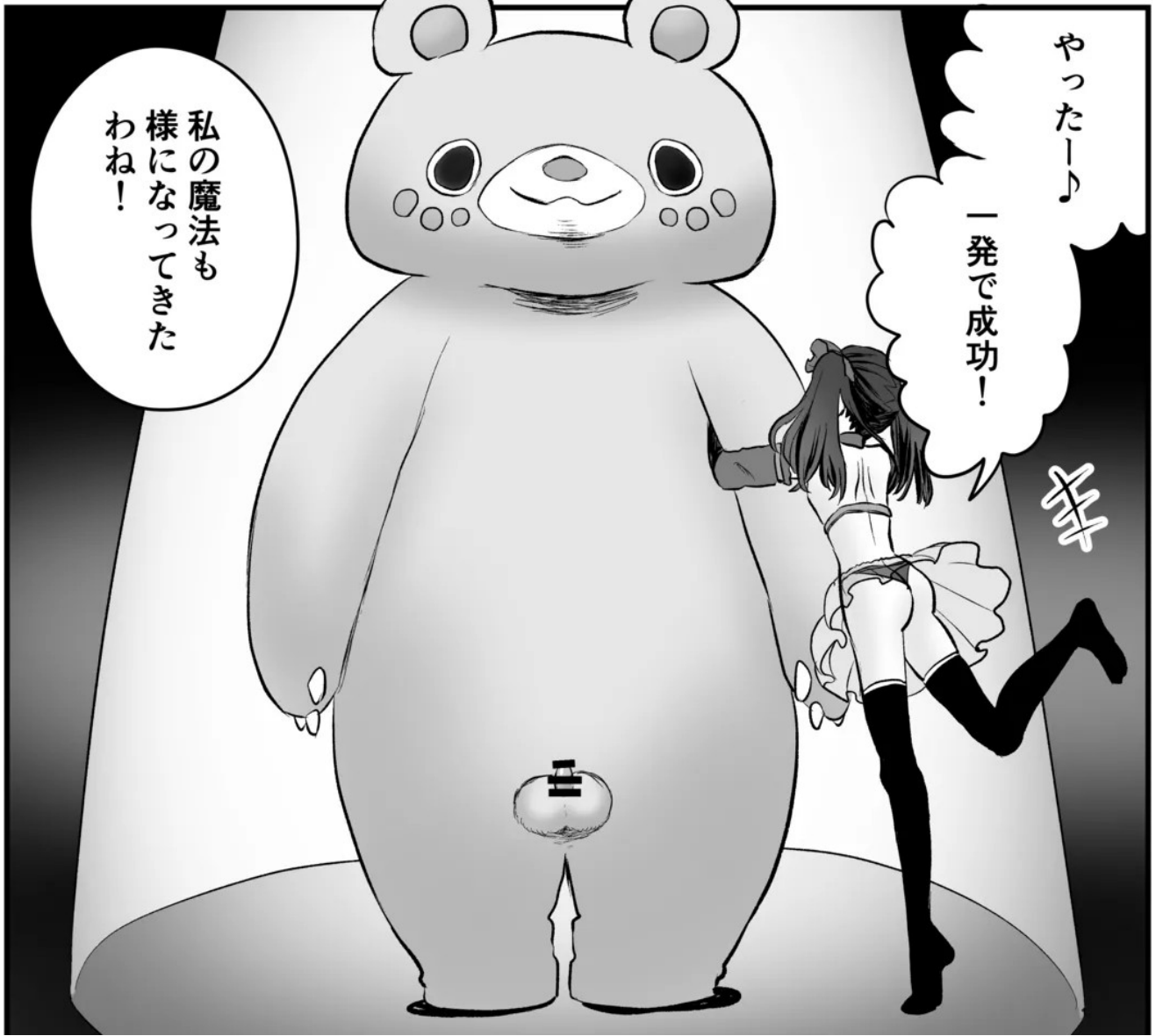
あー

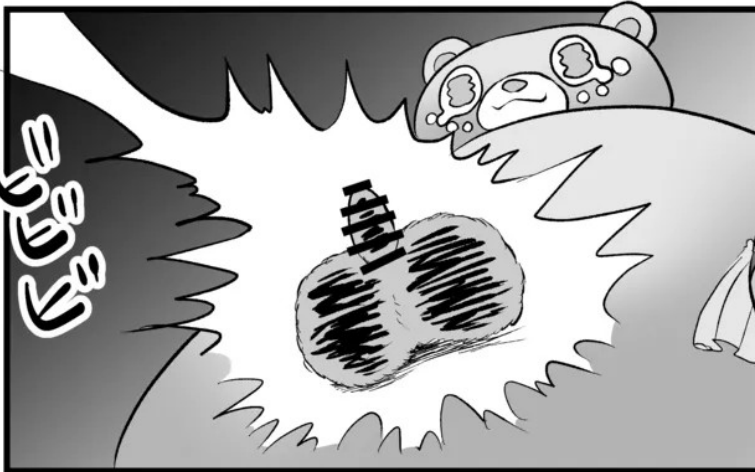
なんか
気持ちいいこと
したくなつて
きちゃったなー

魔女見習い：ネンネ

あ！

いいこと
思いついちやった♪







こんな
化け物ちんぽ
入らないよ
……

流石に
このままだと
体が裂けちゃう

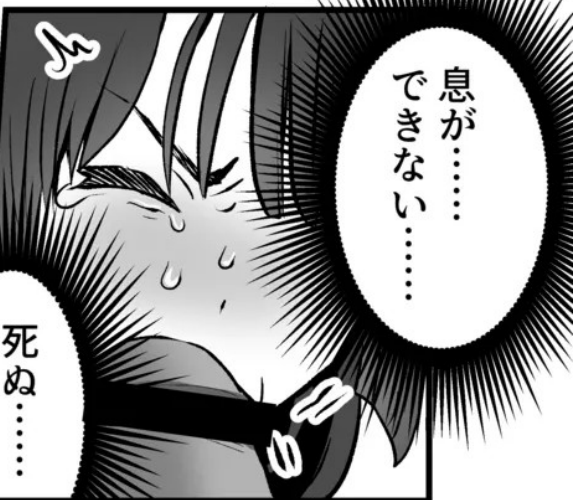
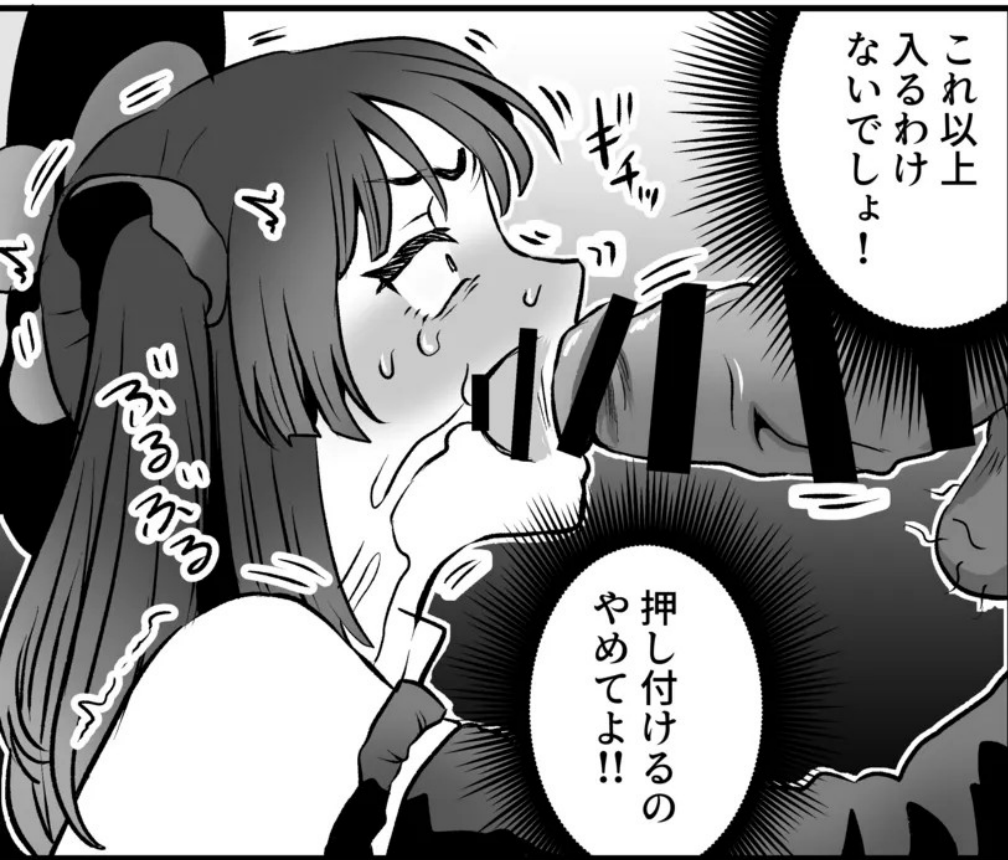
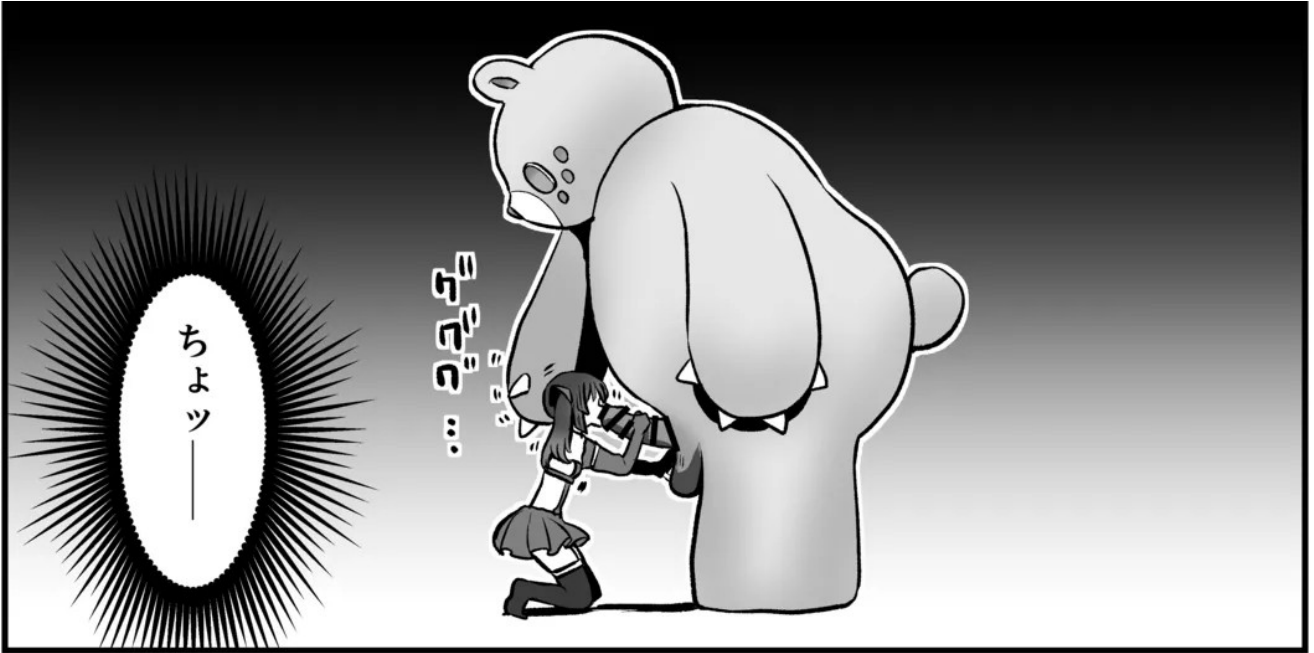
ちよっと
小さく
しなおすねー

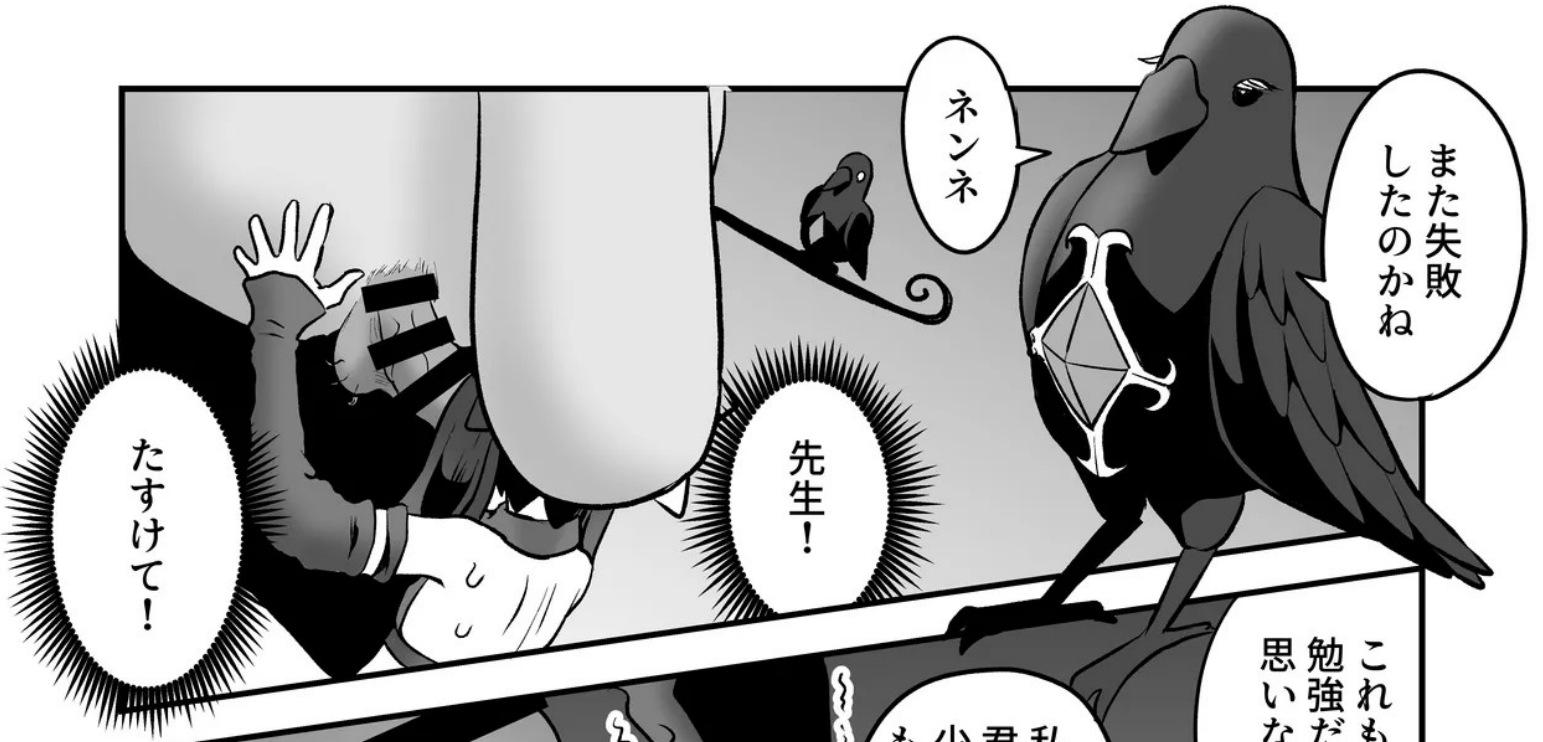
カッ



!!

カッ
ホッ





また失敗
したのかね

ネンネ

先生!

たすけて!



これも
勉強だと
思いなさい

私の魔法で
君の体を
少しいじらせて
もらう

カッ

キンクワン...

その淫魔獣の物を
全て受け入れ
られるように
してあげよう



君の魔法は
いつも
雑過ぎる

せいぜい
ちんぽ^敗の形を
その体に
刻み込め



だめ……

これ以上
入ったら
絶対吐く!!

息できなく
なる!!



ちんぽ受け入れ
られないのにッ

ちんぽ侵入
止まらない!!

先生の魔法のせいだ
勝手に体が
受け入れようと
してく!!



だめ
こんなのに
侵入許したら

ぐるぐる



ゴッパッ

怖いッッ

入っちゃ
いけないところまで
入ってる……ッ

ありえない
ぐらい
喉広がっ
てる……ッ

ぽんぽん



体は嘔吐の
反応を
しているのに
ちんぽで
栓をされて
吐けまい

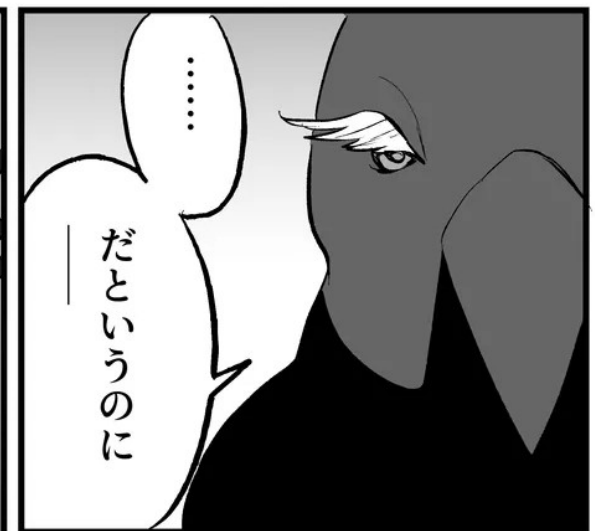
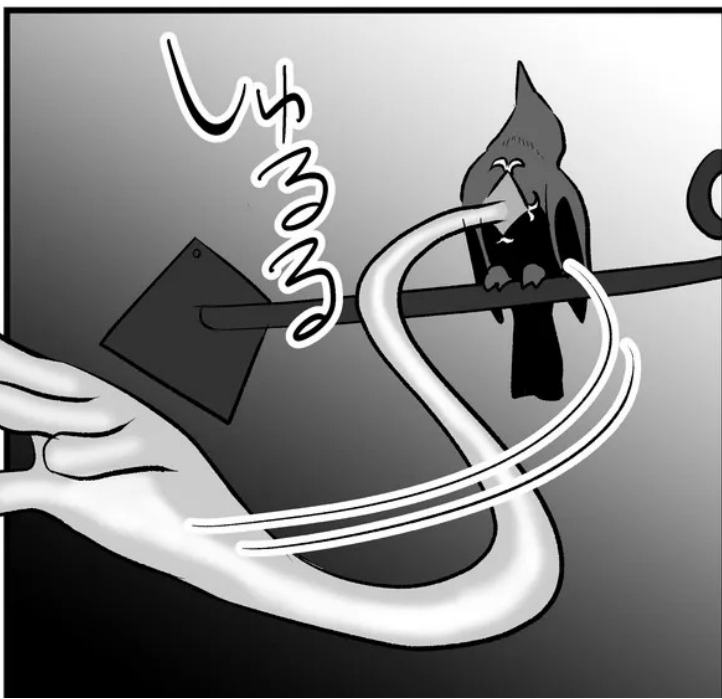


体が全力で
拒否しているな

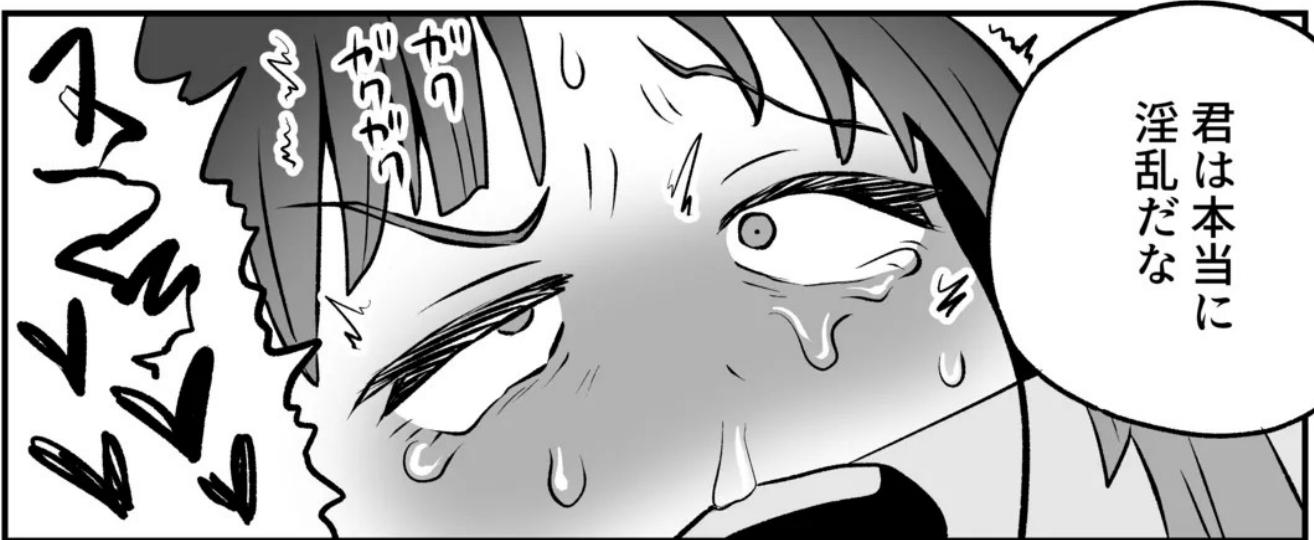
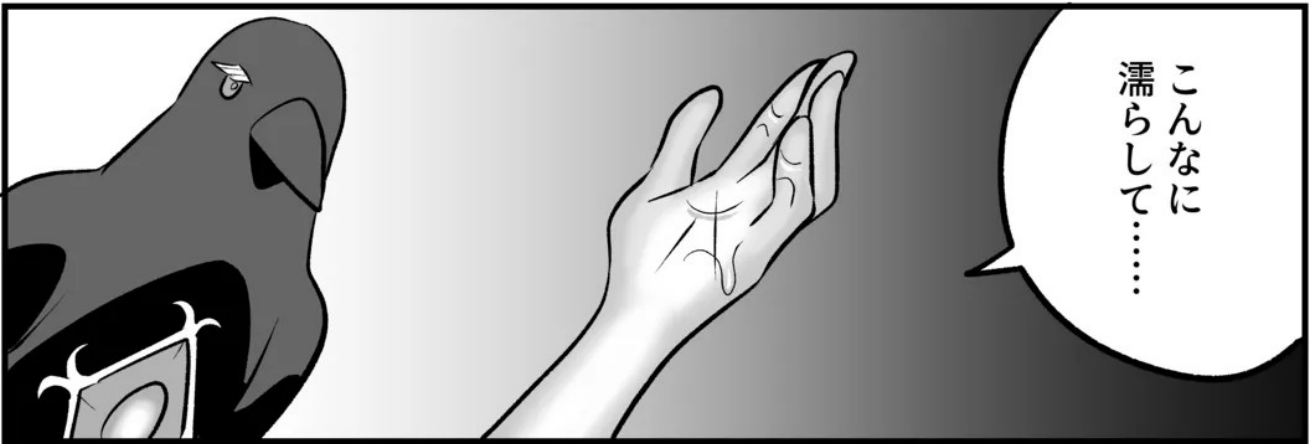
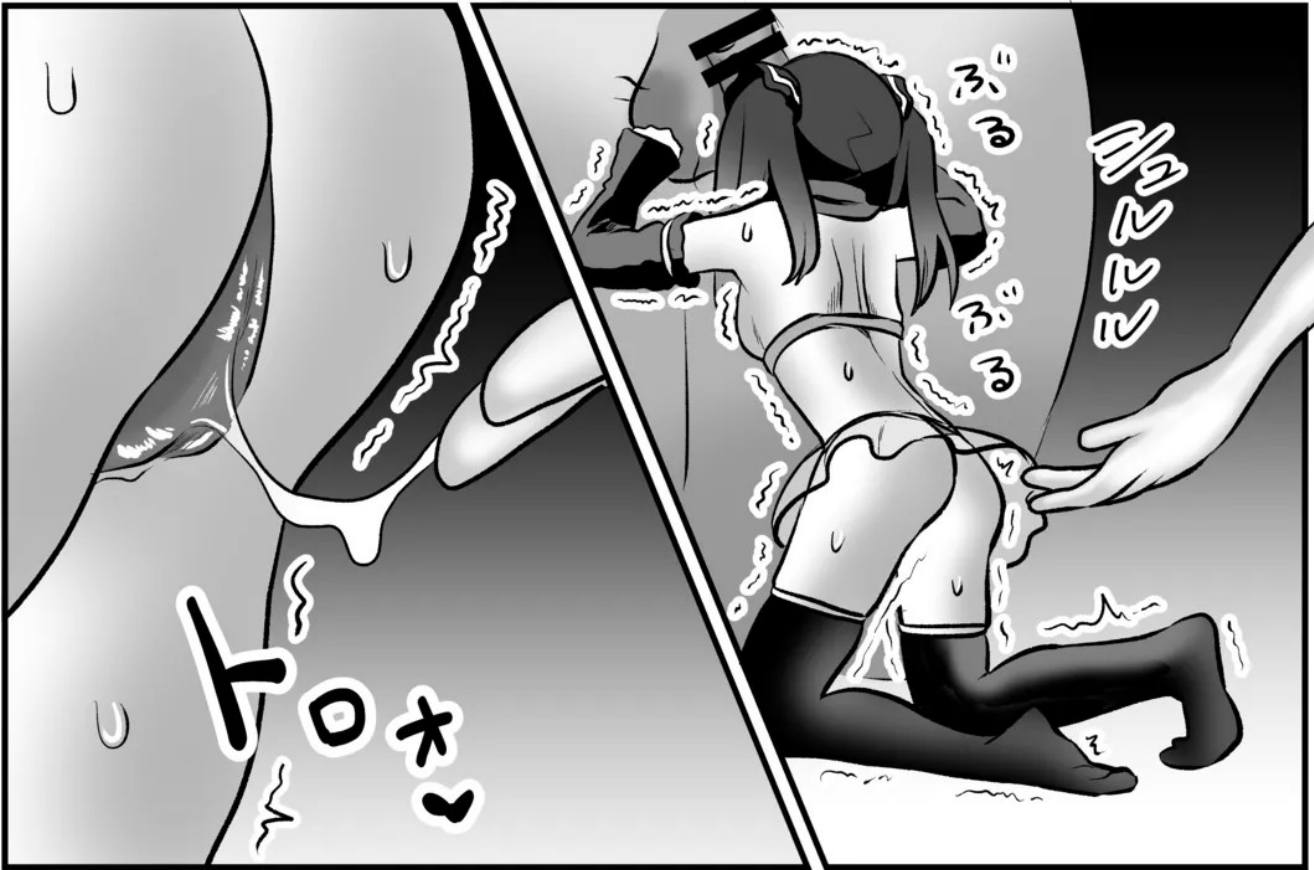


息の通り道を
ちんぽで
塞がれて
苦しかりう

嘔吐できないまま
体を貫かれ続ける
気分はどうだ？



……
だというのが





まあ
死を味わうことは
珍しくないが
『完全な死』に
いたることは
稀だ

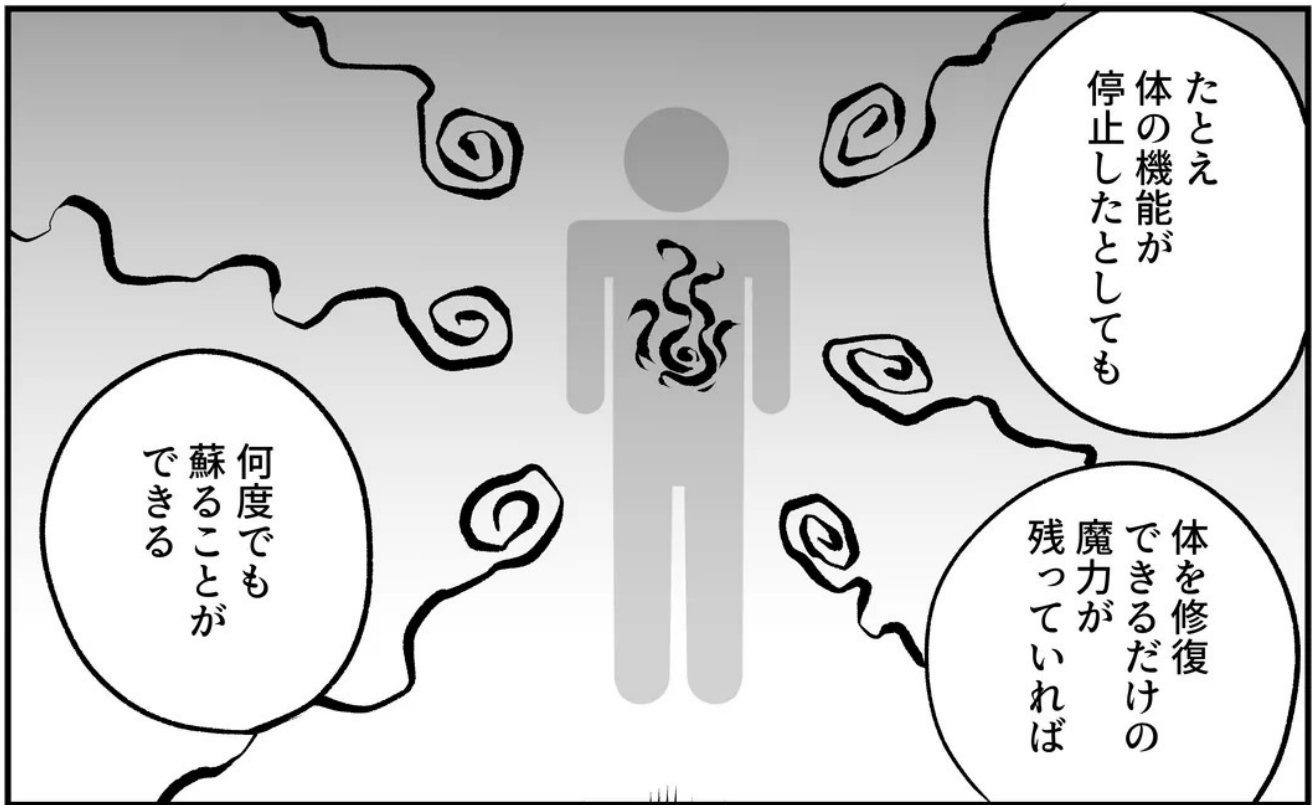


死ぬッ

死ぬ

魔女は
そう簡単に
死なん

安心しろ



たとえ
体の機能が
停止したとしても

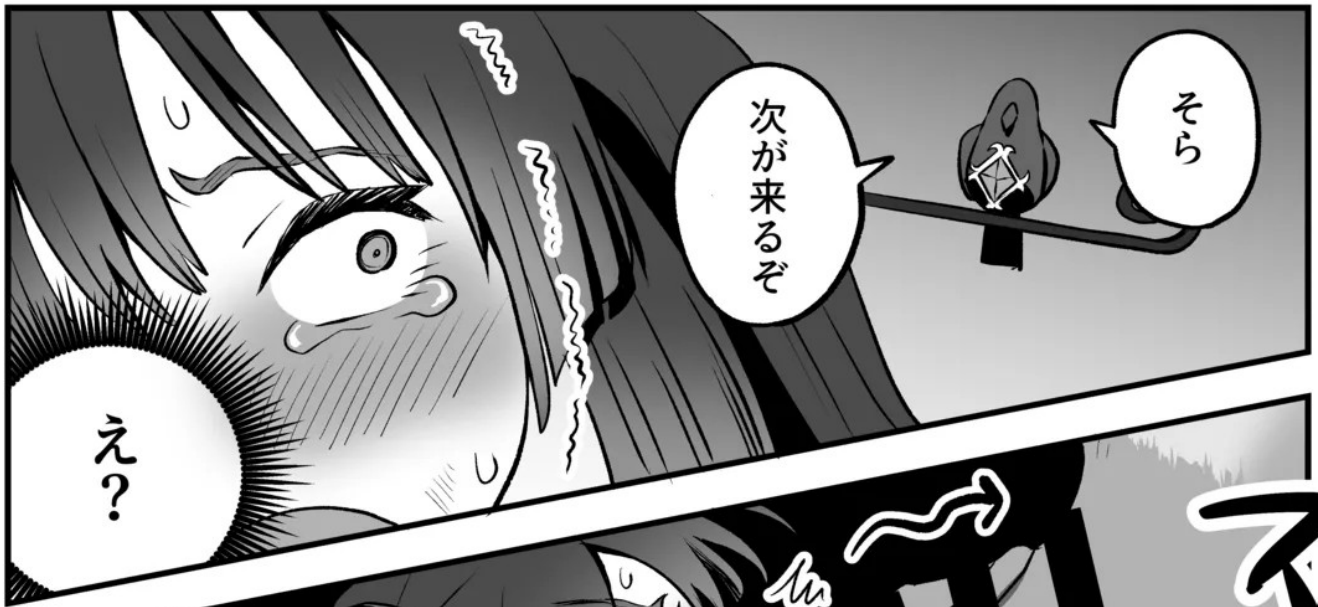
体を修復
できるだけの
魔力が
残っていれば

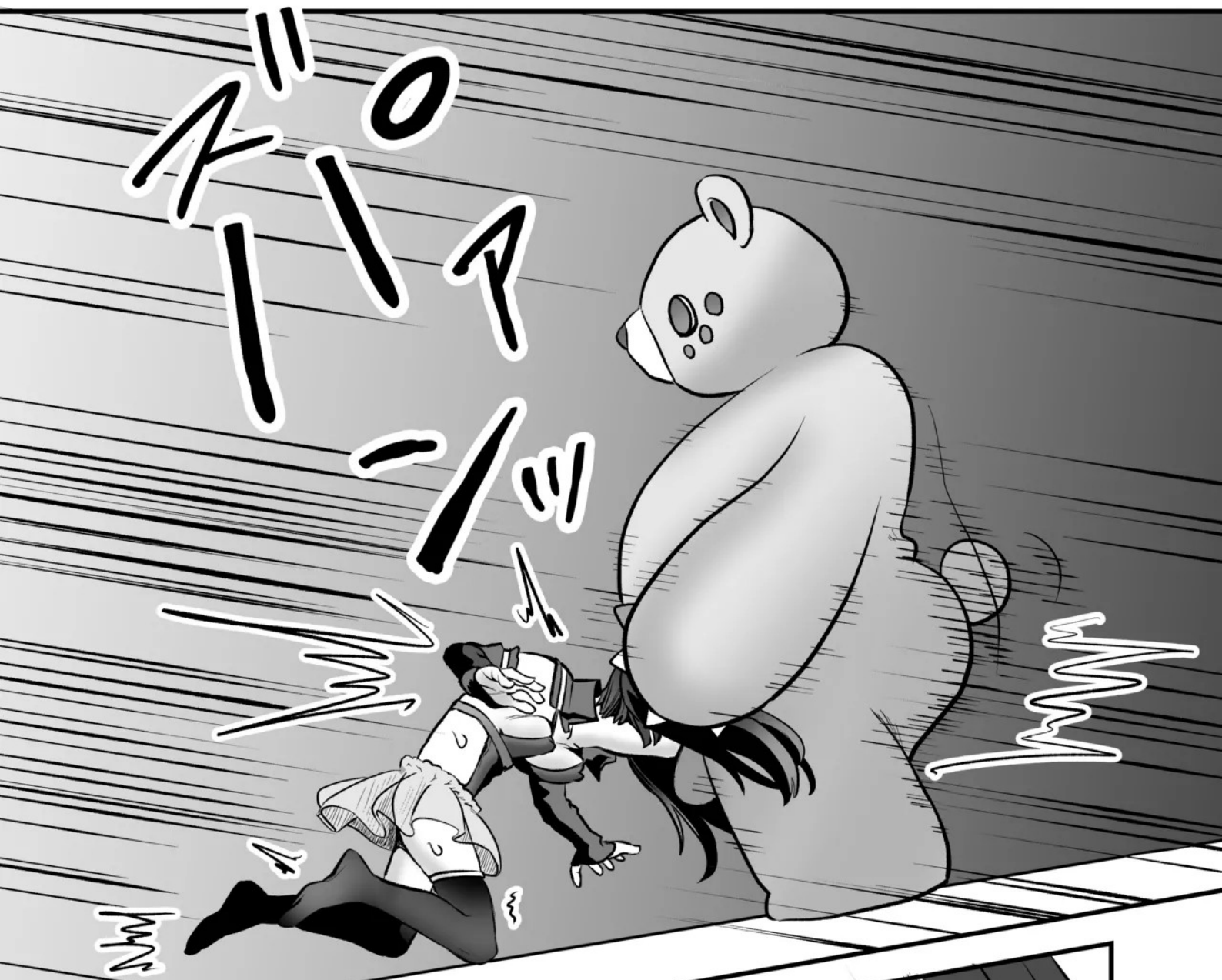
何度でも
蘇ることが
できる



死ぬ苦痛を
味わうことに
かわりないじゃん!!

悪態つく
余裕があるなら
大丈夫だ







動かないでえええ♡

待ってえええ♡

?



喉奥
突かれるの
ヤバいッ♡

苦しいの♡



頭が

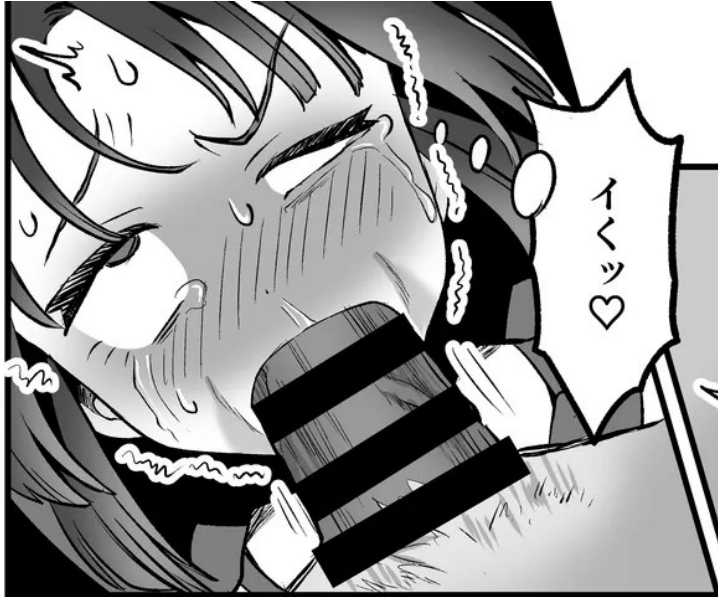
ガッ

ガッ

ん
ど
ん
ど

溶
け
て

♡
♡
♡



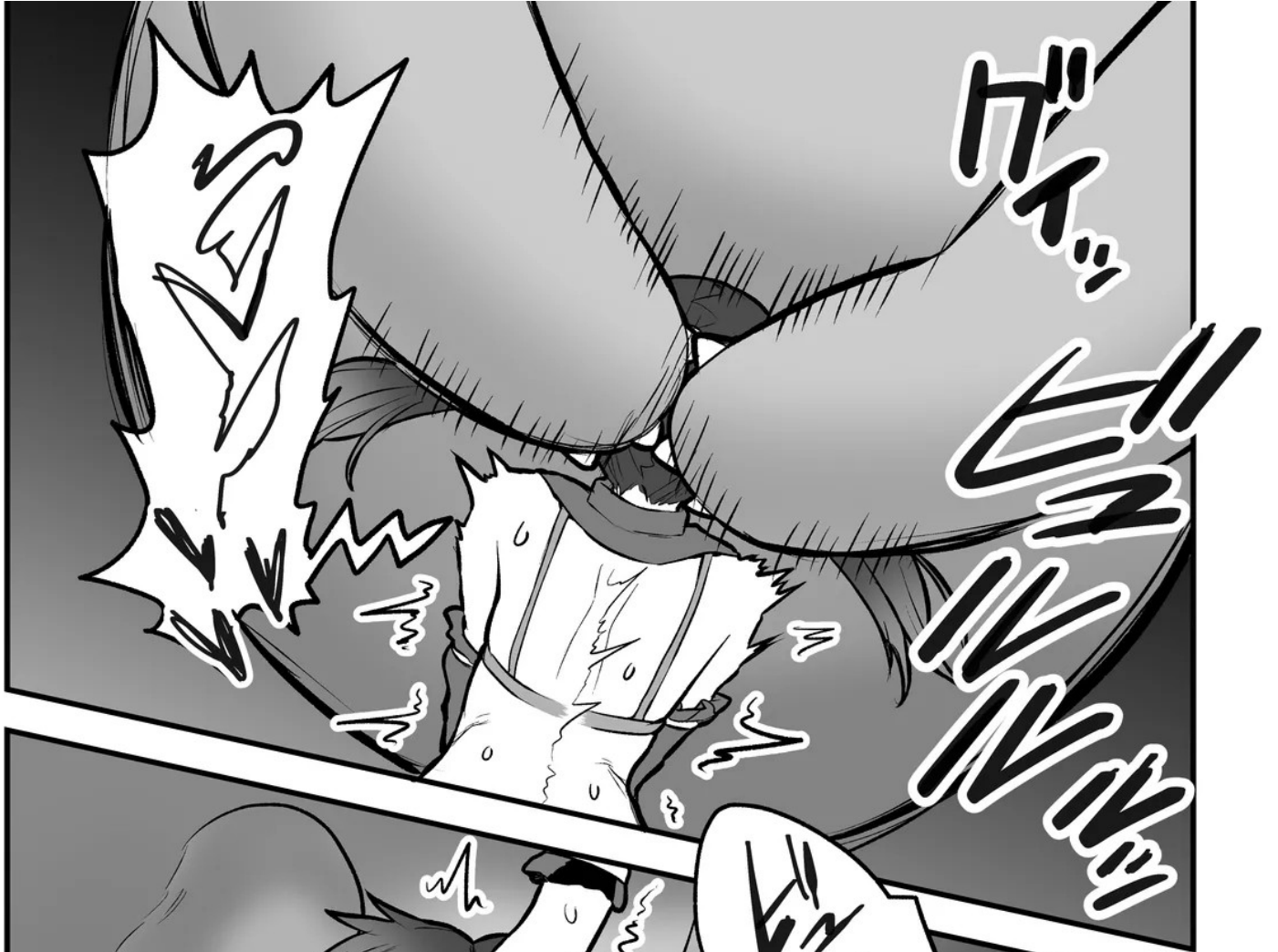
イクッ♡



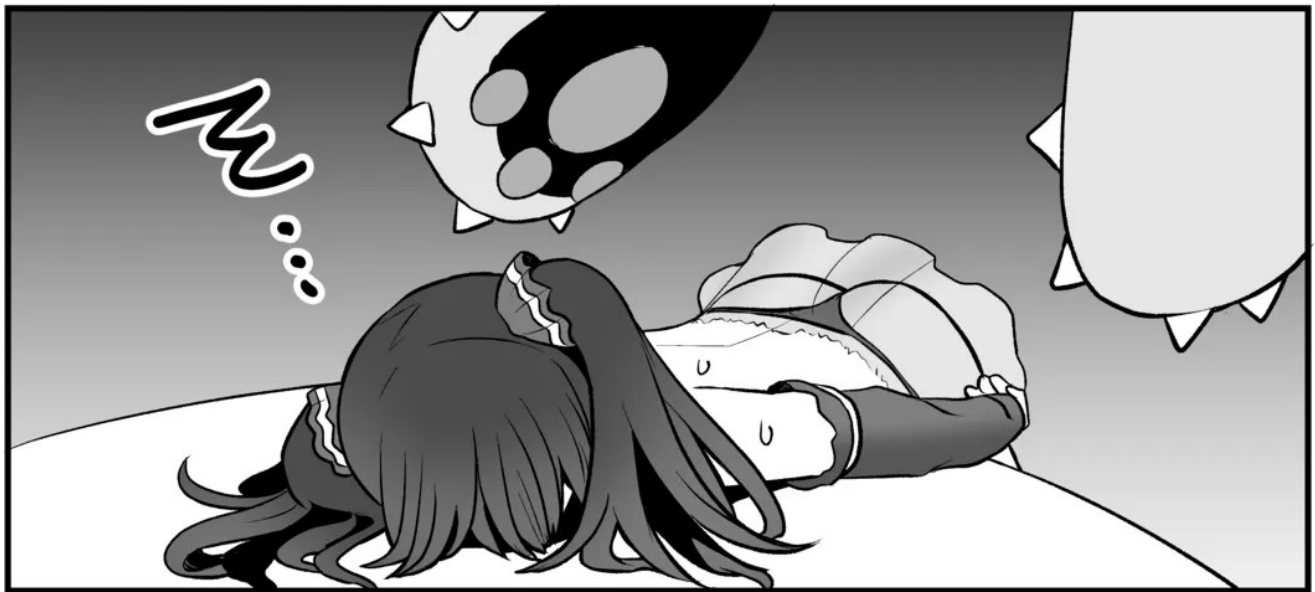
のどちんこ
擦るのだめえッ♡

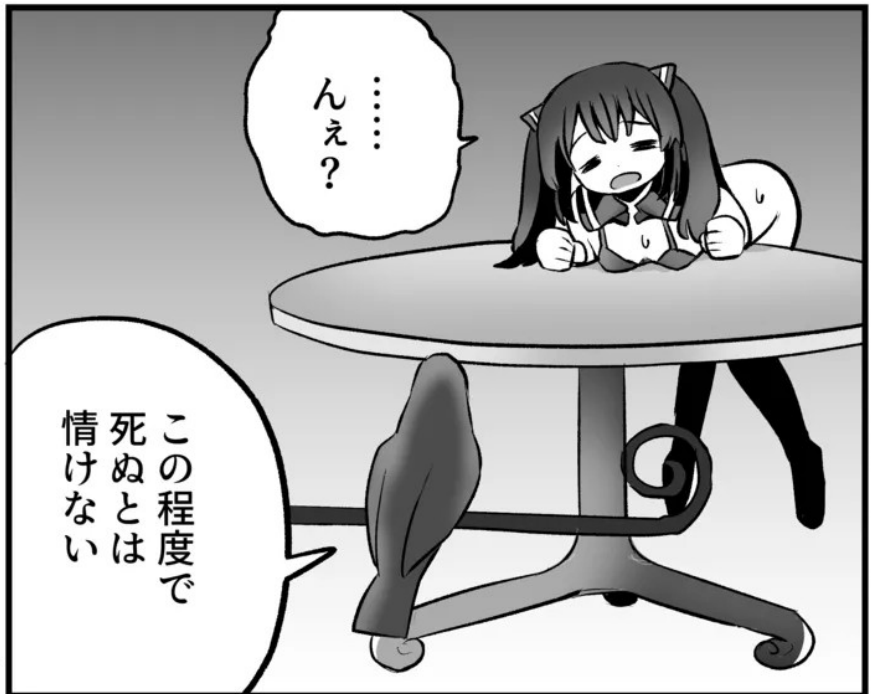
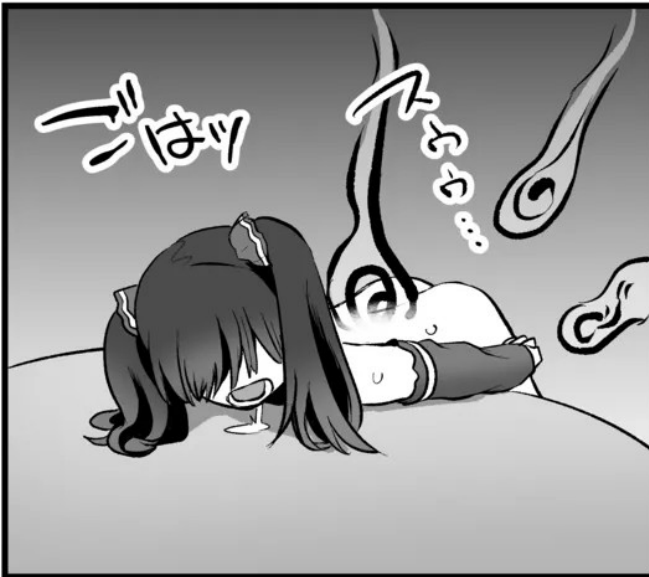


のどまんこ
侵されて
イクッ♡♡♡♡



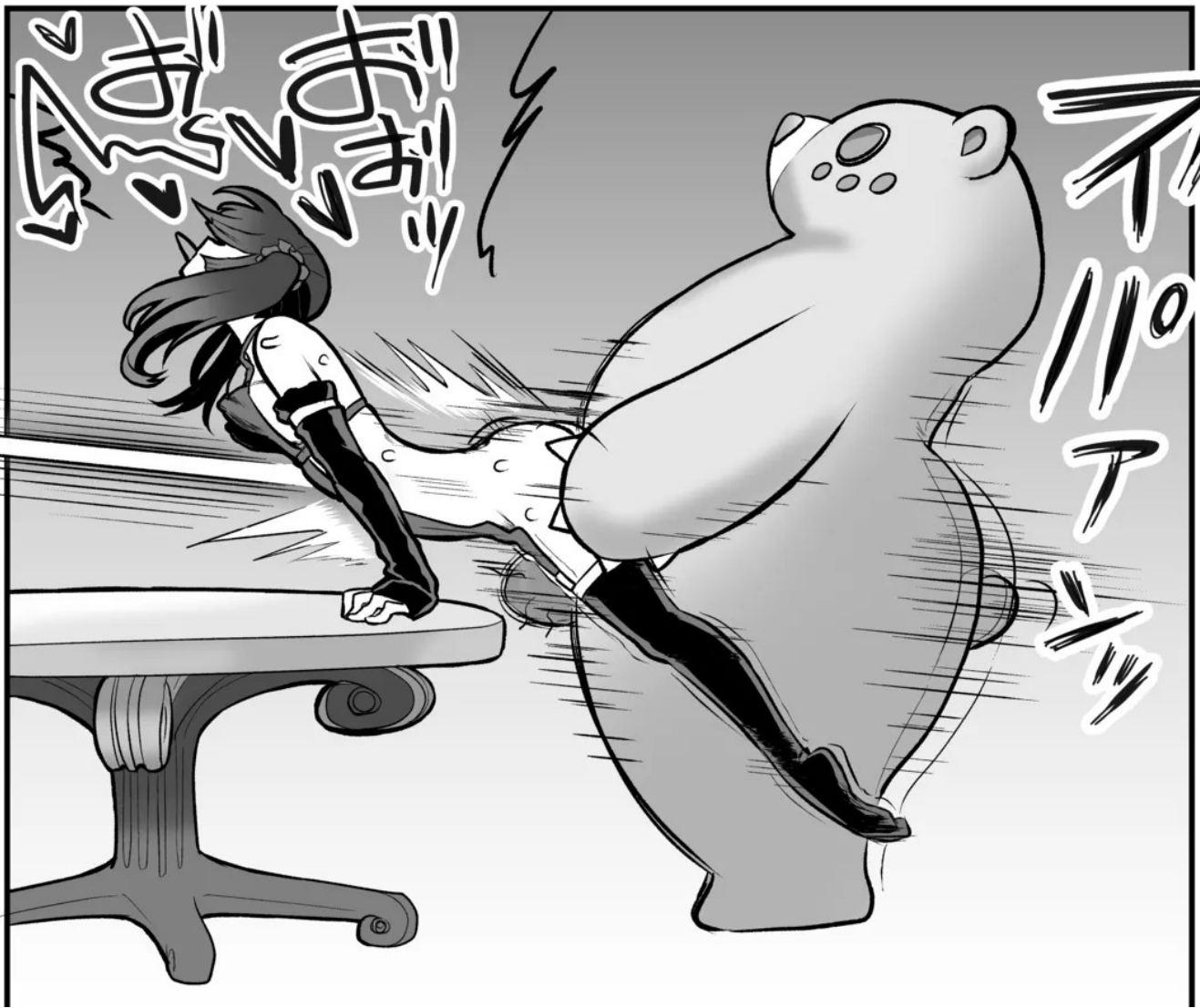


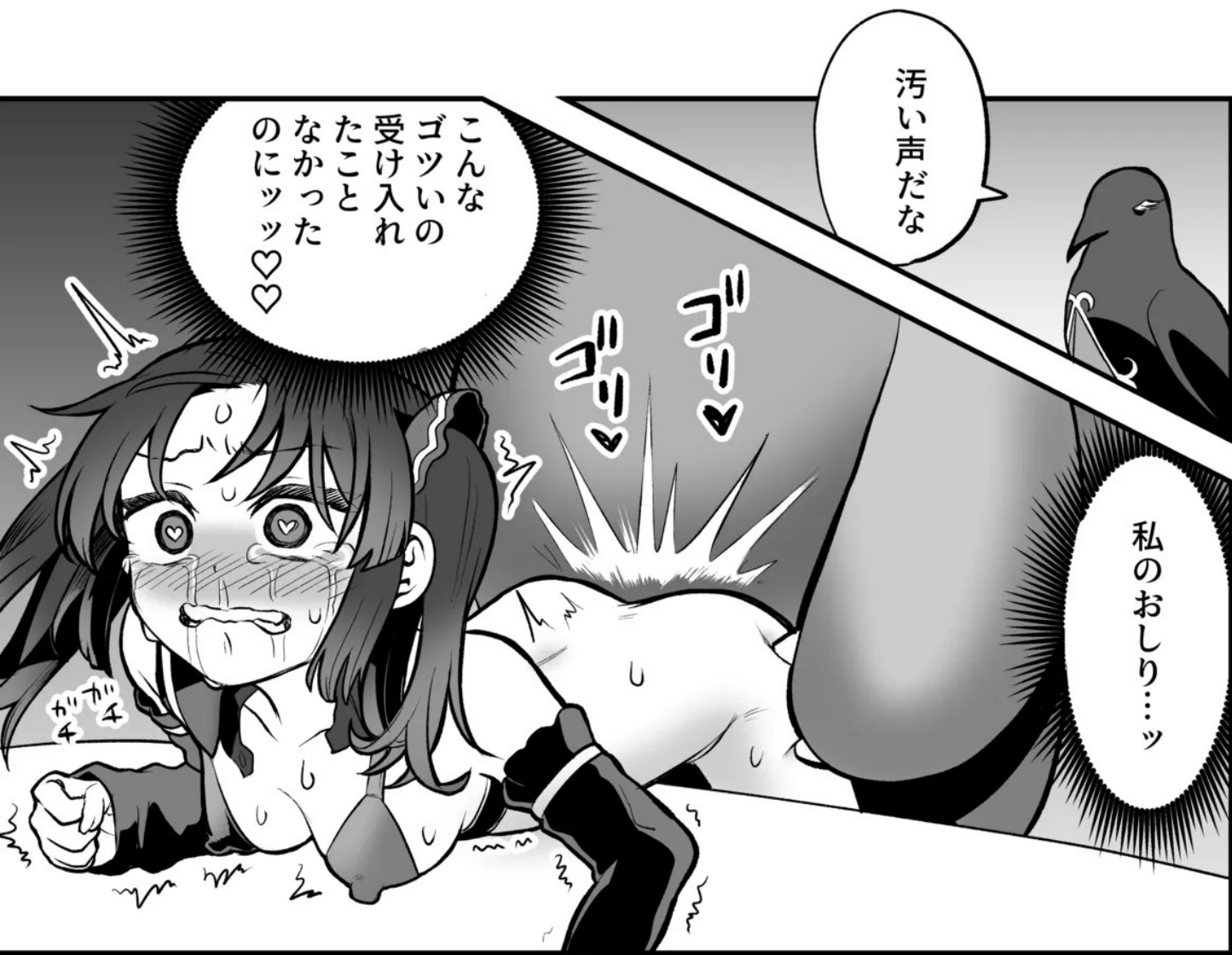


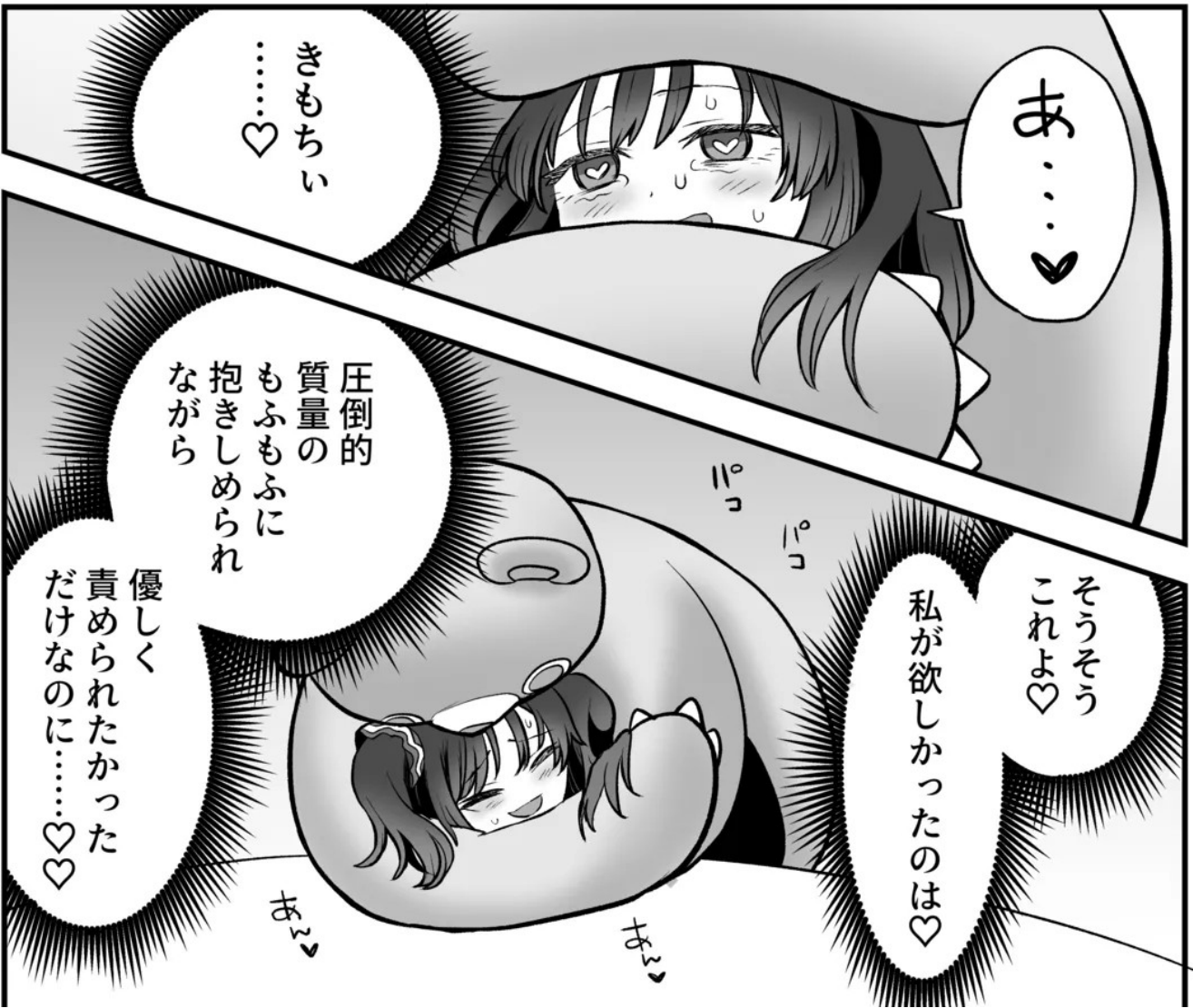




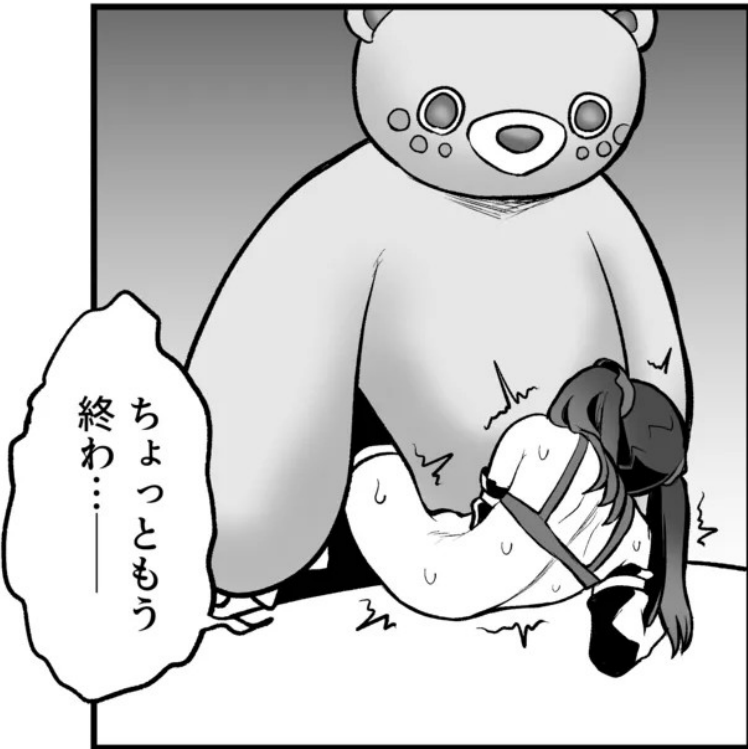
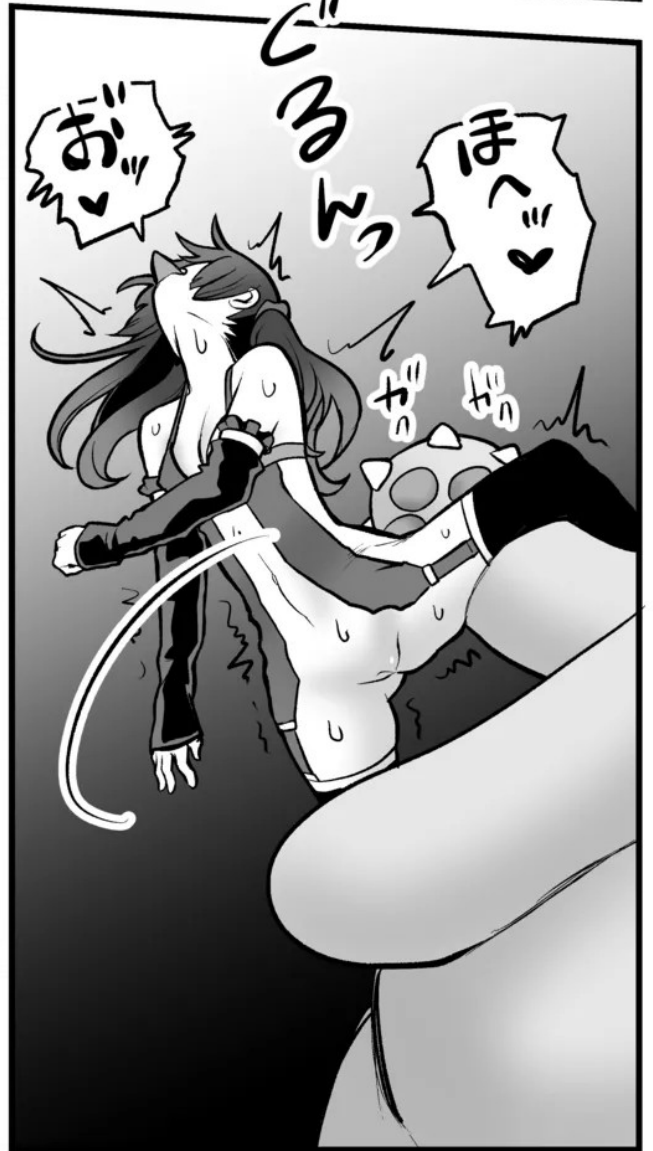
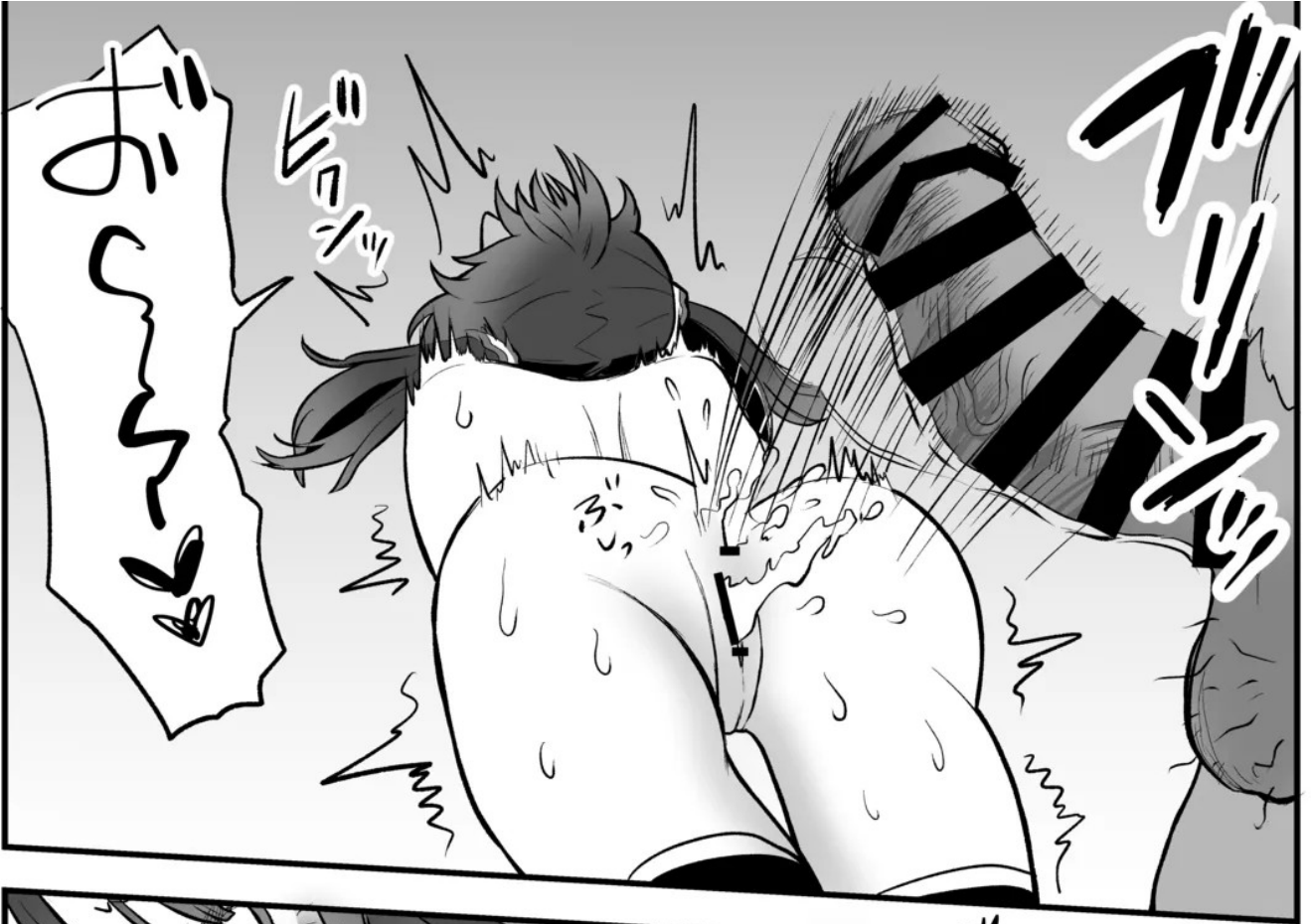


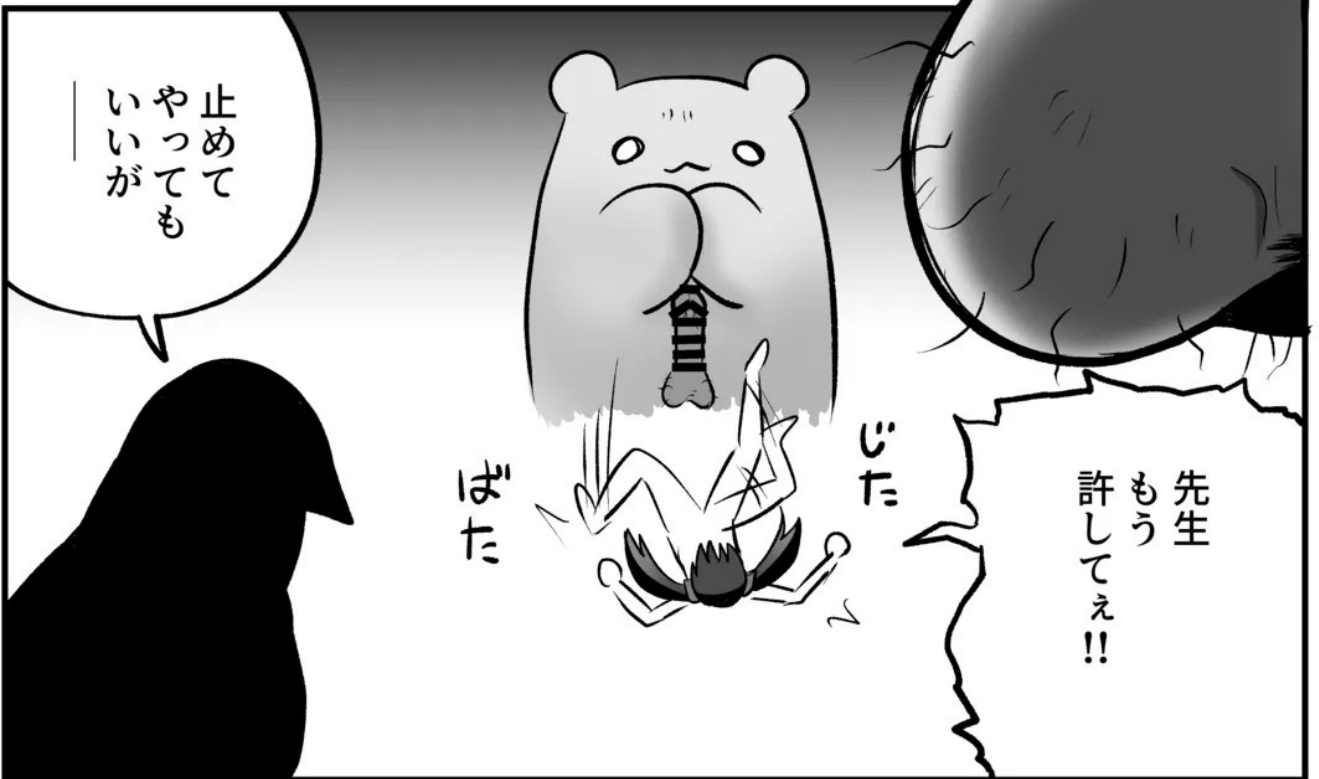














今止めてしまうと
そやつが
気の毒だぞ



生成された
淫魔獣とはいえ
発散できなかつた
魔力を放置すると

後々取り返しが
つかない
変化をする
ことがある

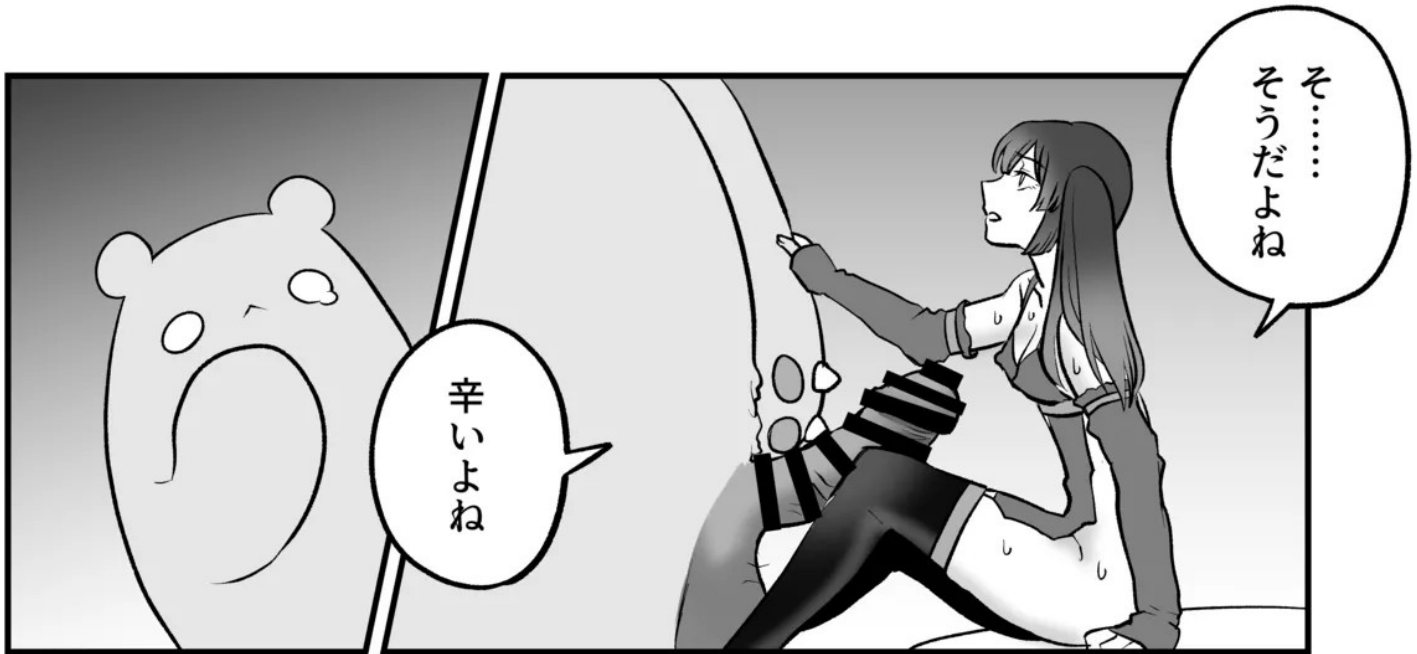
特に
君のいびつな
魔法ではな……



今
発散させて
やることで
そやつは
淫魔獣としての
使命を果たし

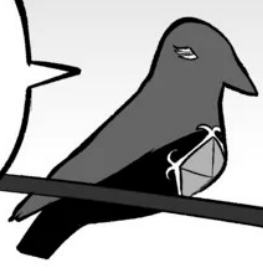
より洗練された
魔力へ返り
君の力の礎
となるだろう

後始末は
自分でつけてこそ
立派な魔女と
認められる





まあ
せいぜい
がんばれ



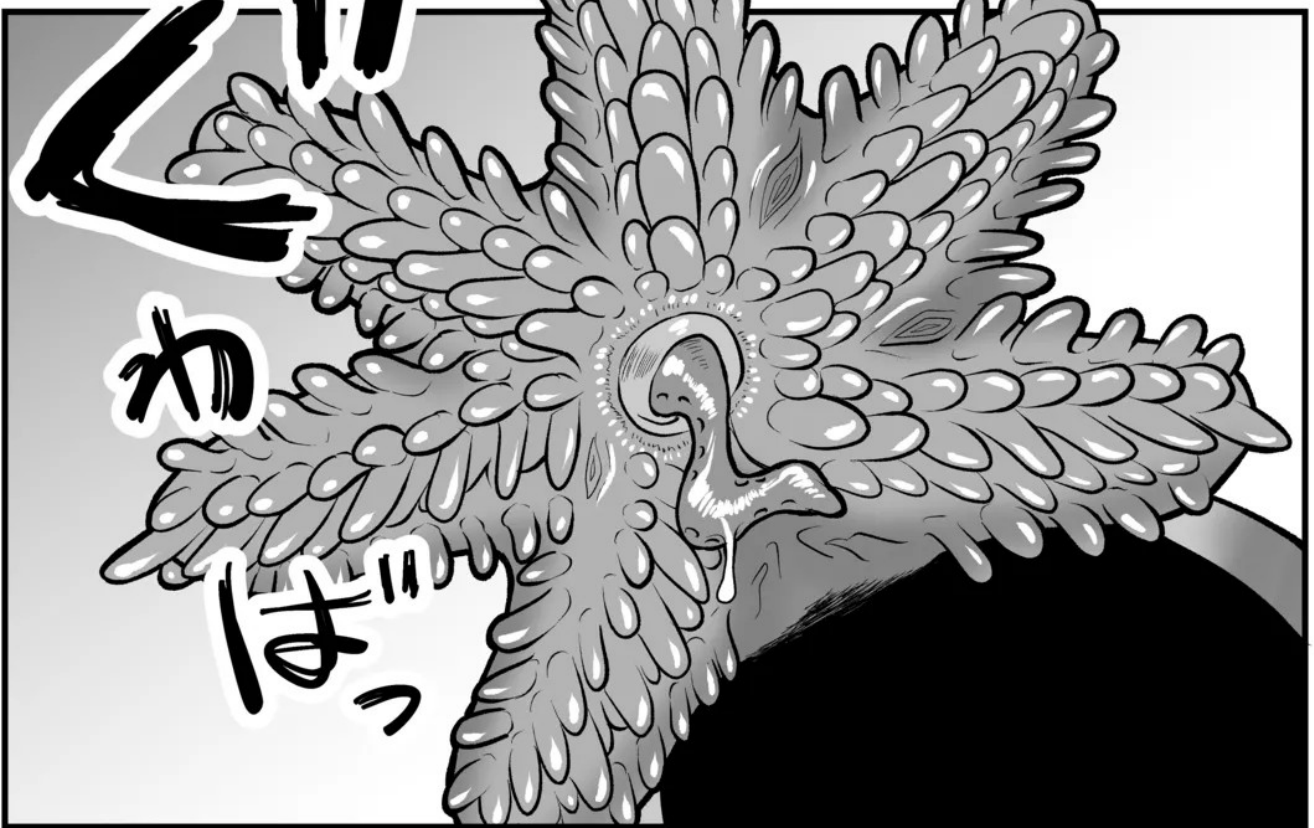
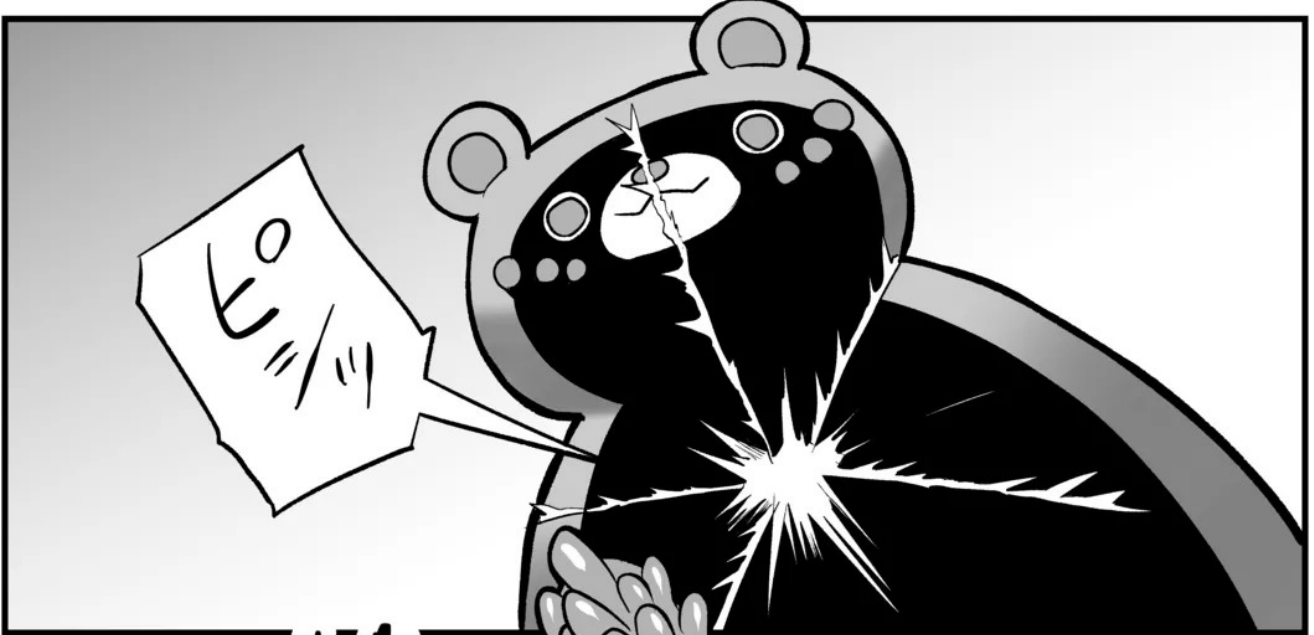
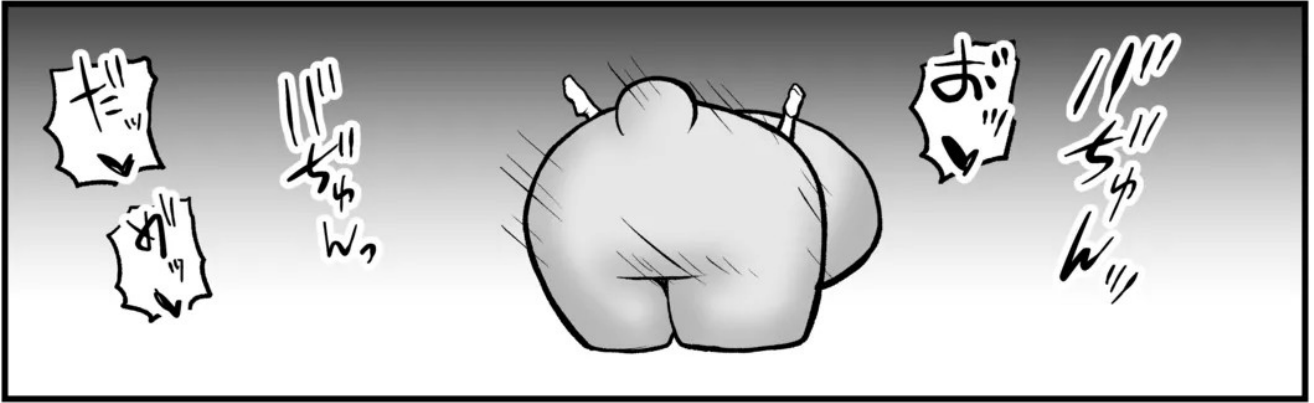
威勢のいいことを
言っておいてこれか

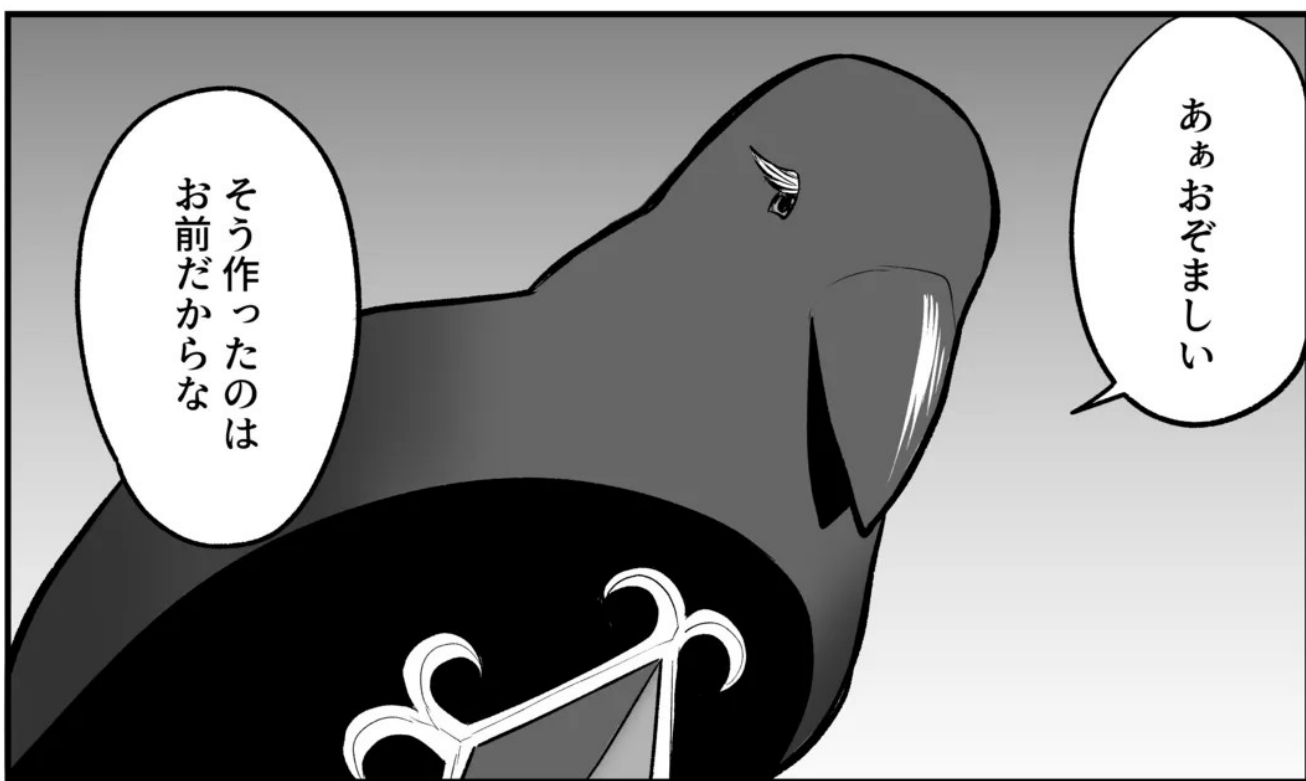
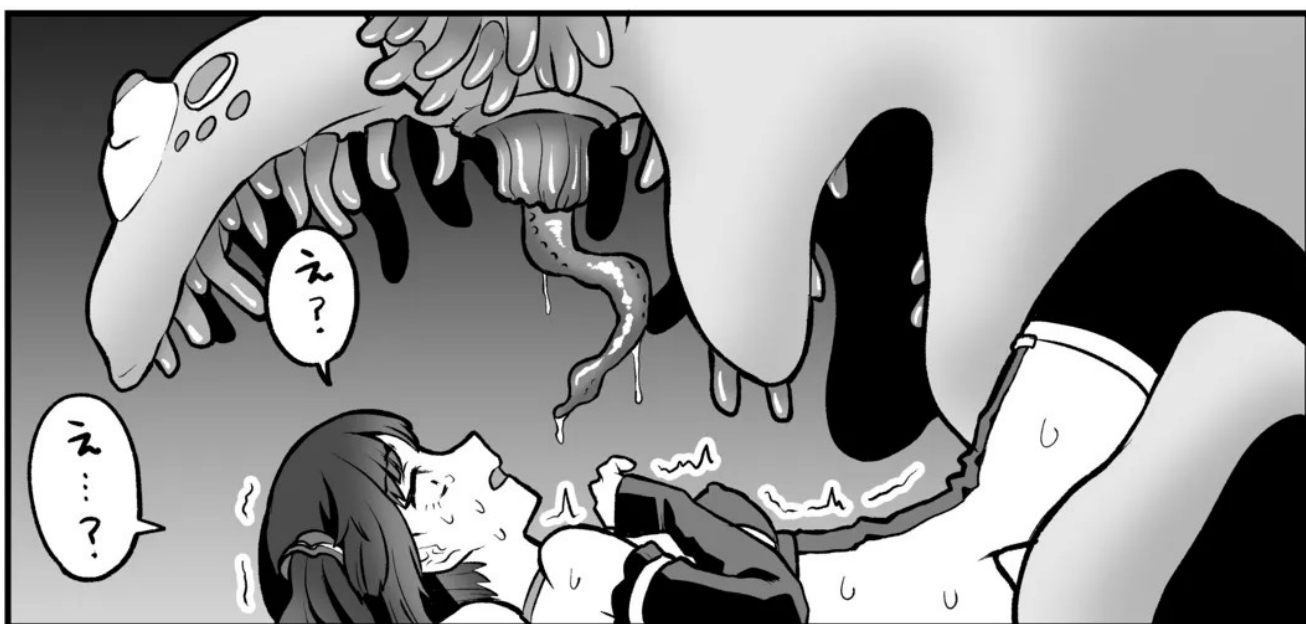
このバカあ!!

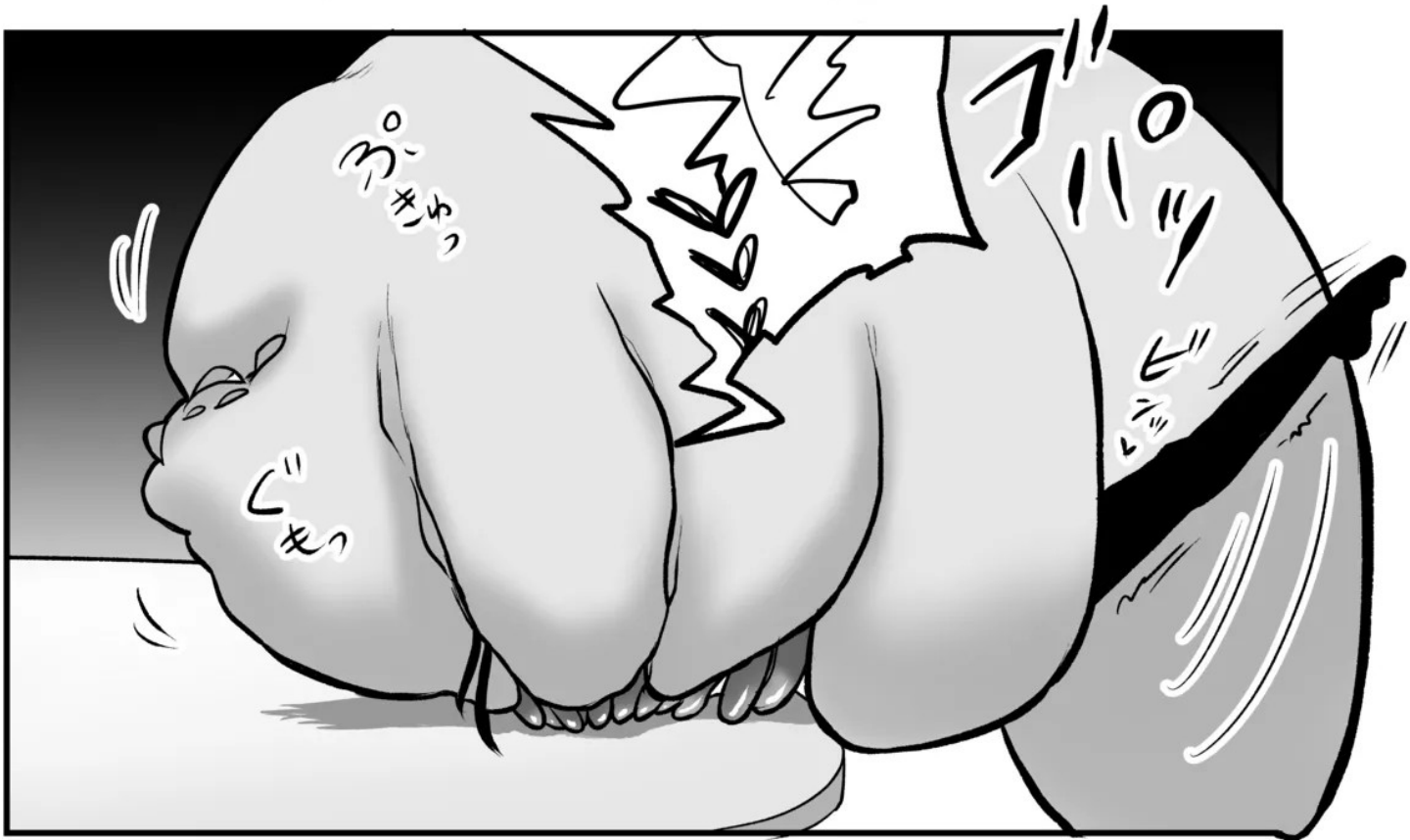
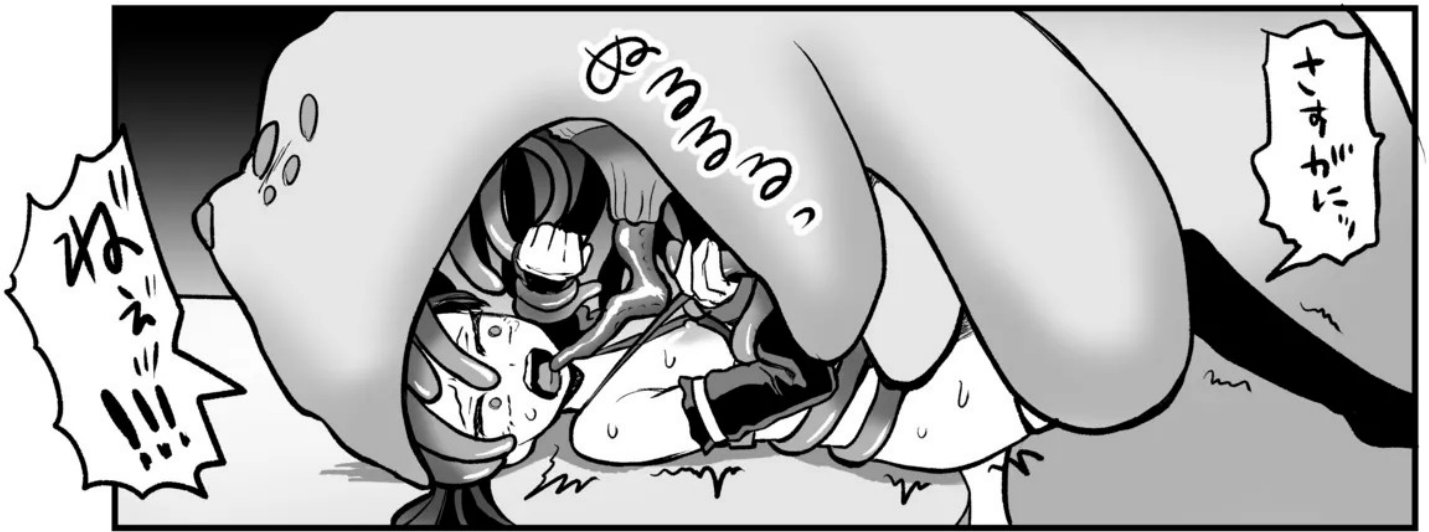
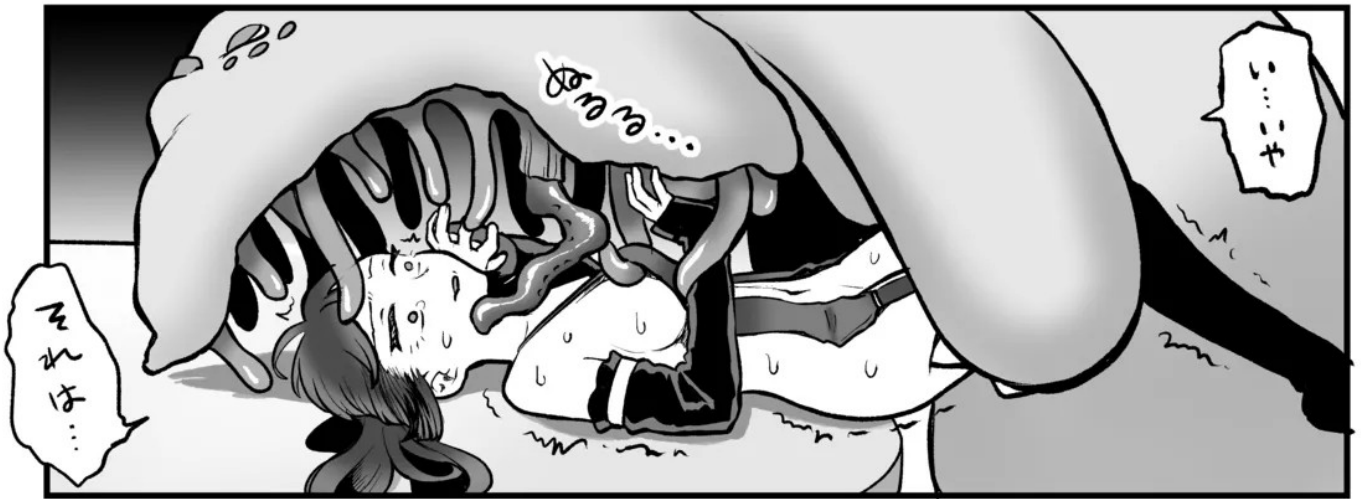
やさしくして
やっただからさあ!!

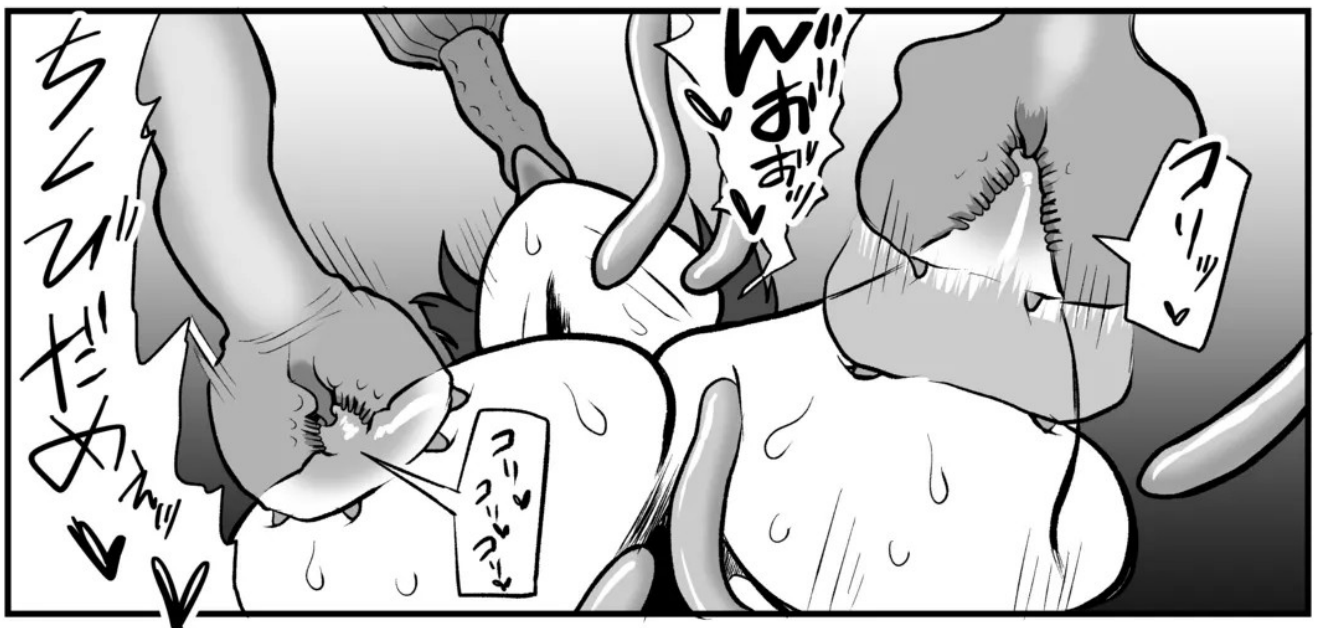
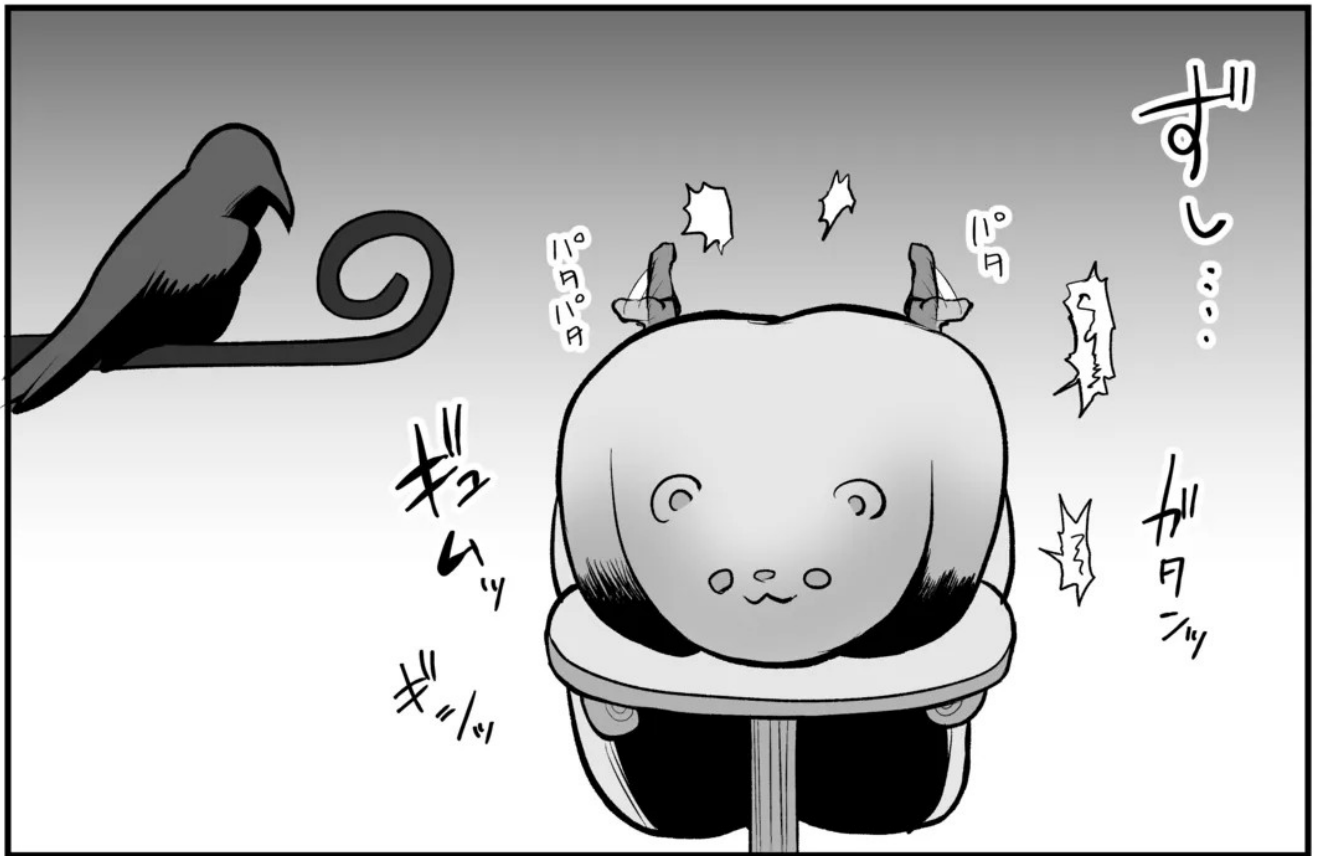
あんたも
やさしくしてくれたって
いいじゃん!!

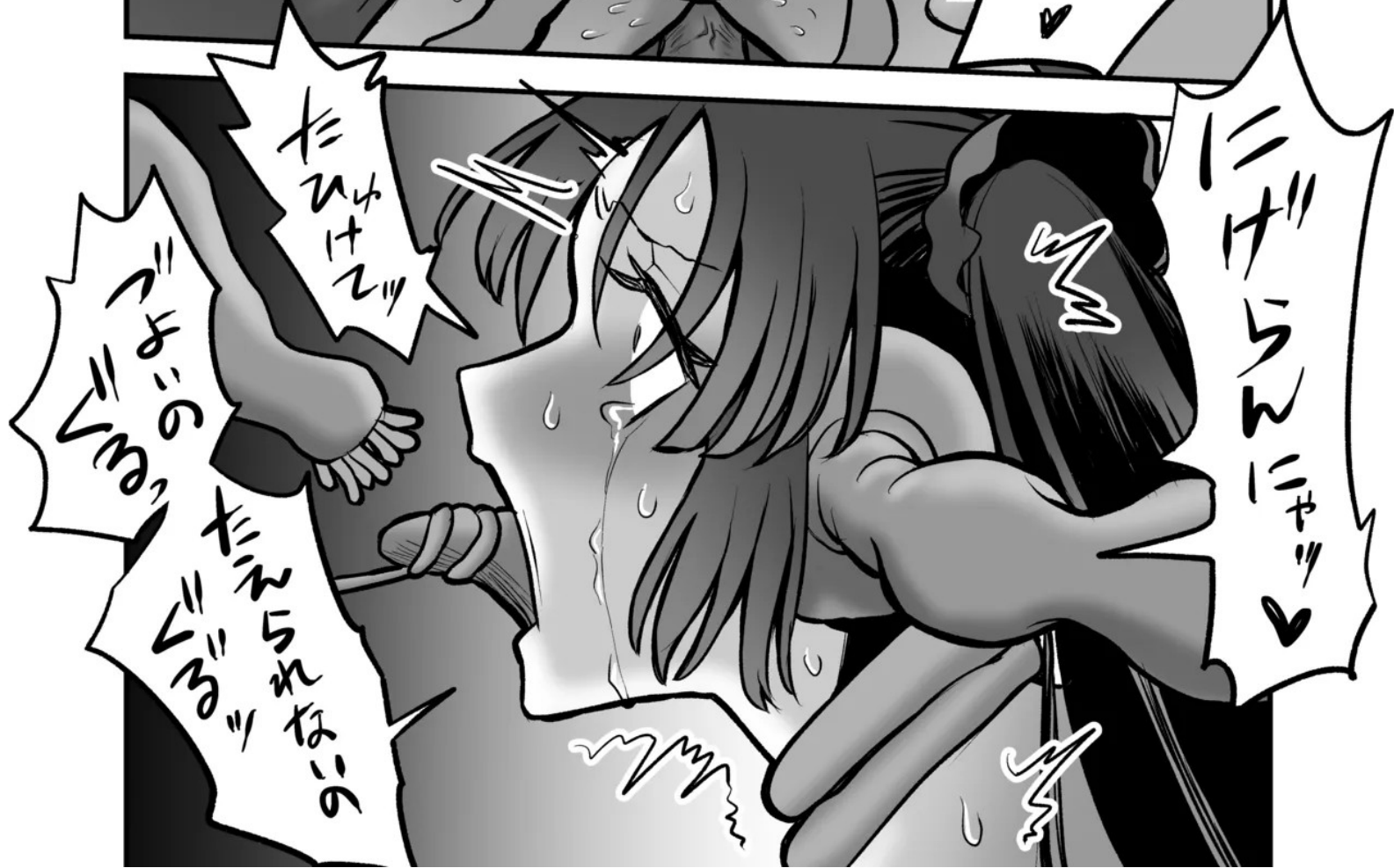




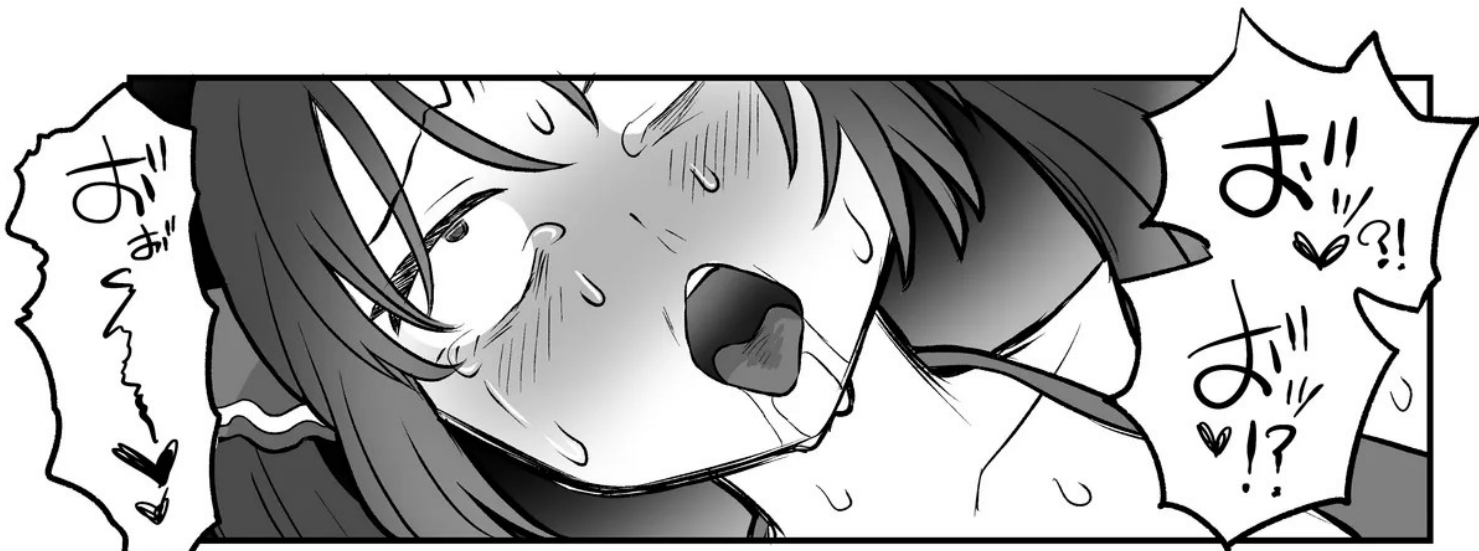












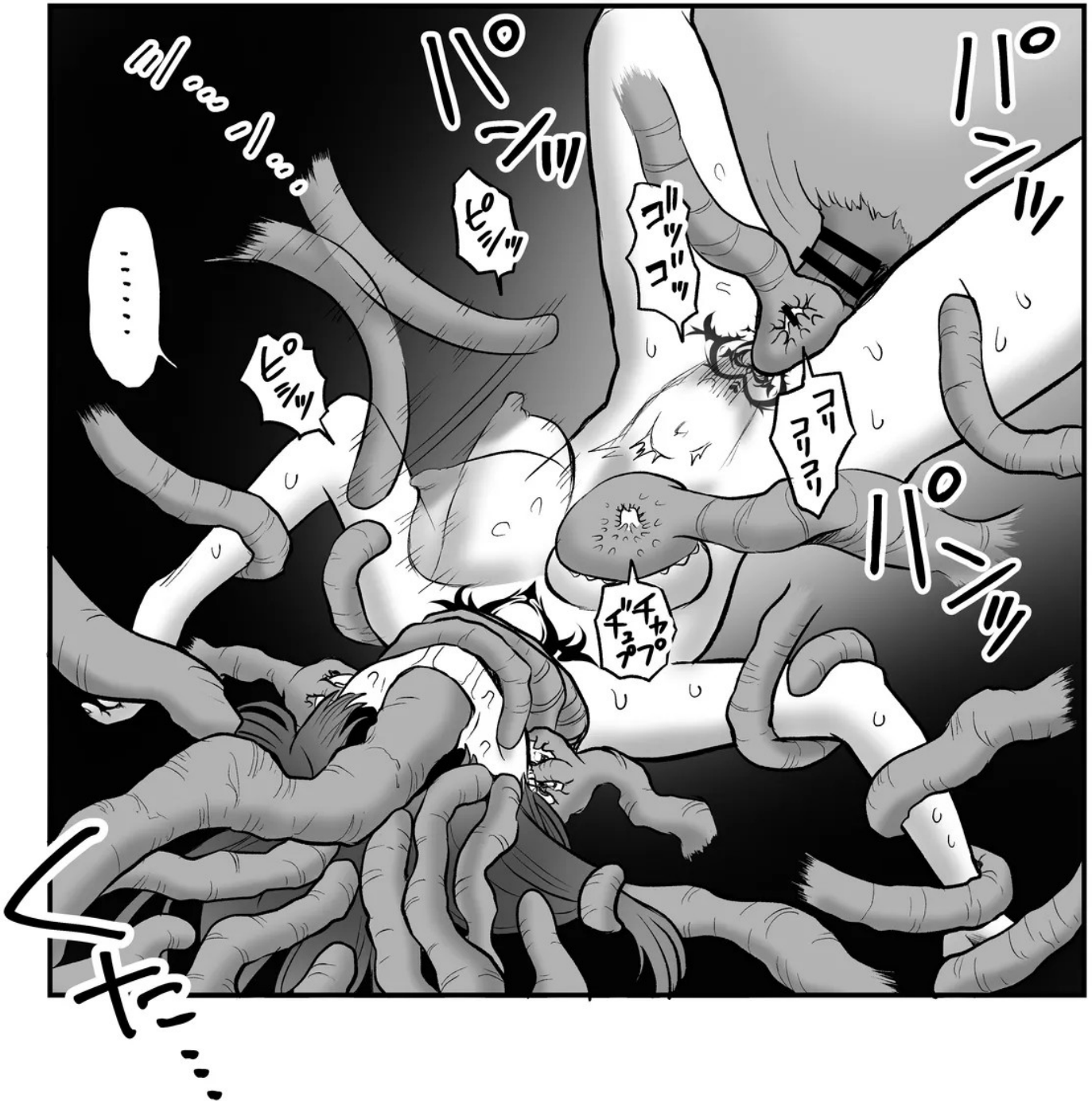
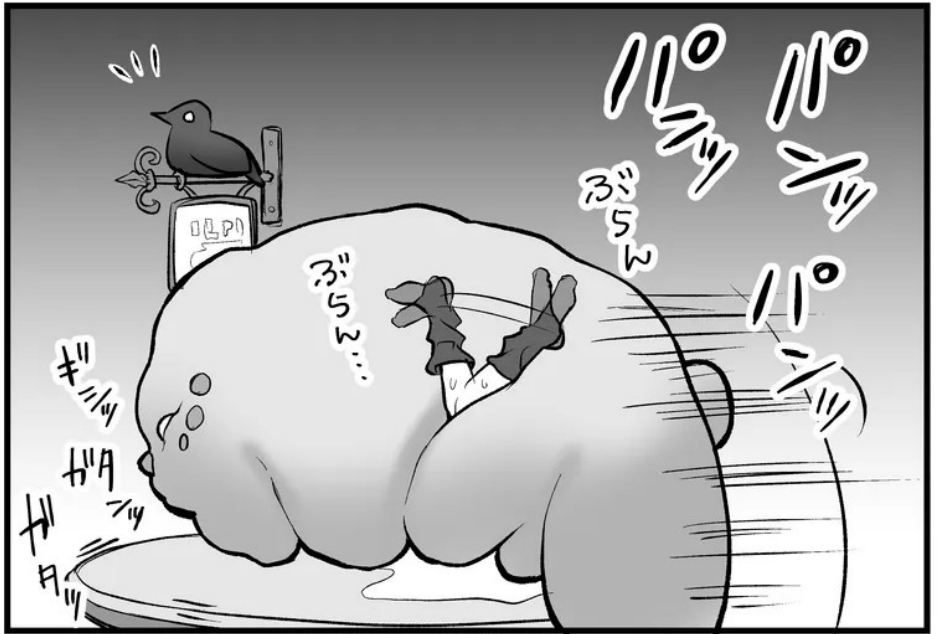
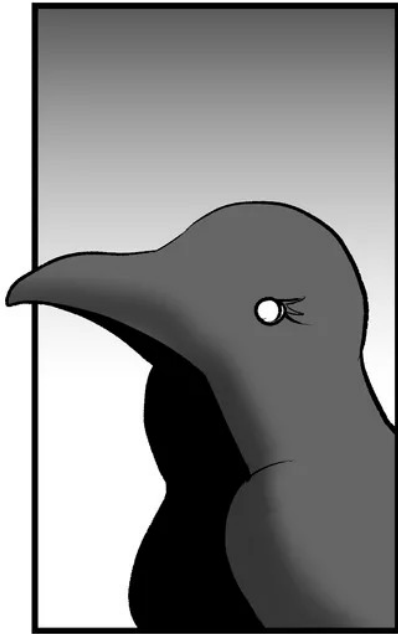
死ぬッ

本当に
イキ死ぬッ

もっと強い
の来るッ

来たら
ヤバいの
来









何これッ!?

何コレ

何コレッツツ?!

なんで!?

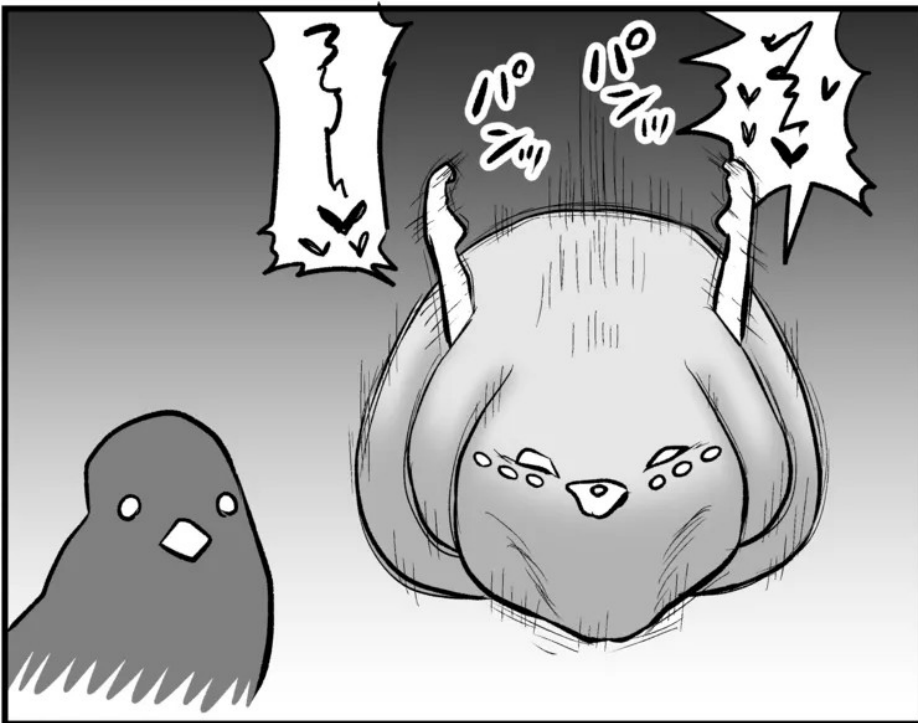
絶頂
強すぎッ—

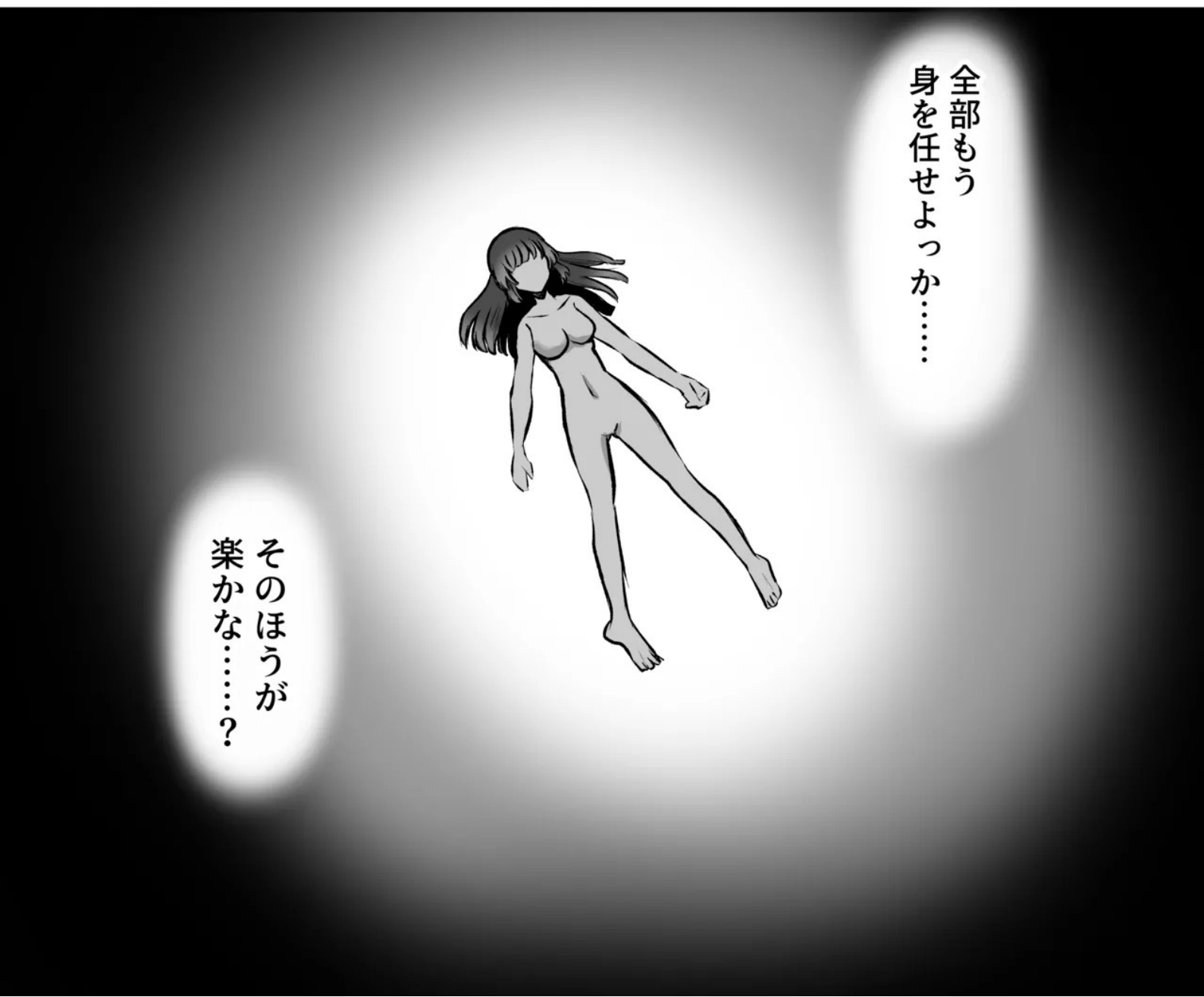
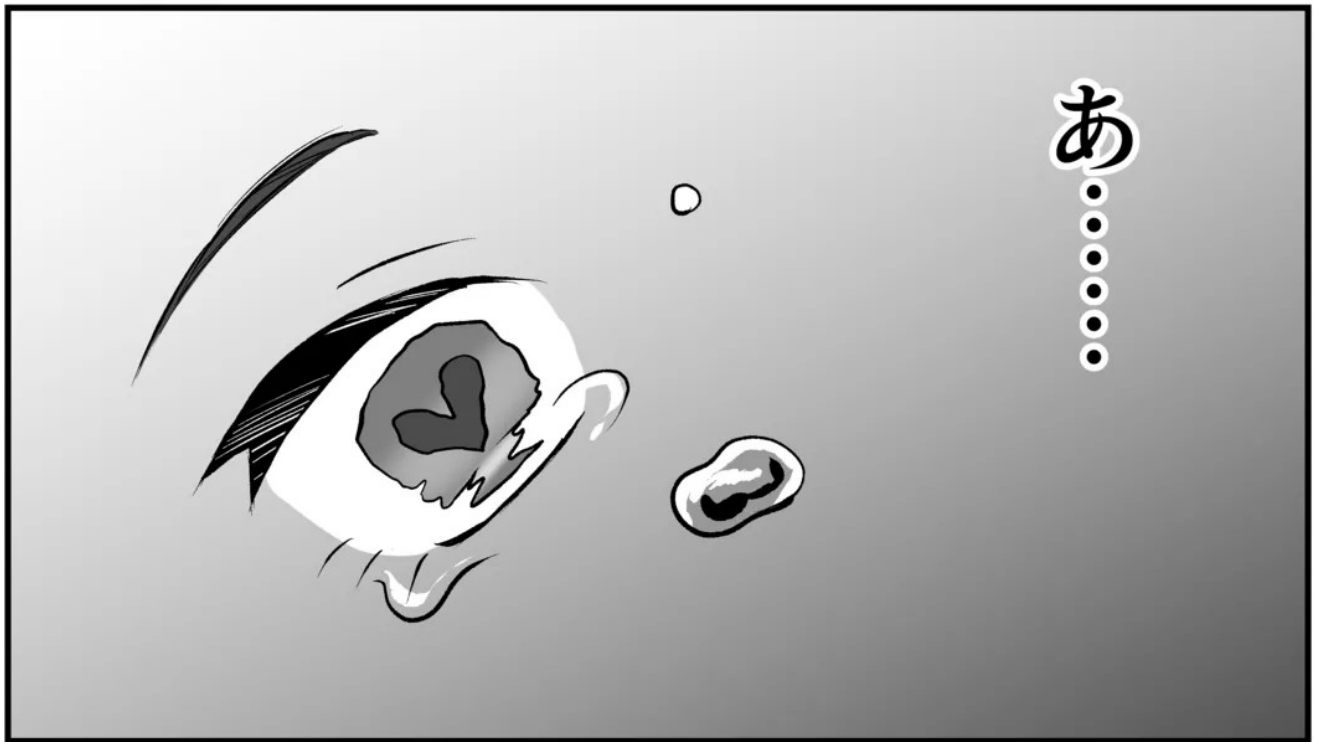
蓄積してたものが
一気にあふれた
みたいニッ—

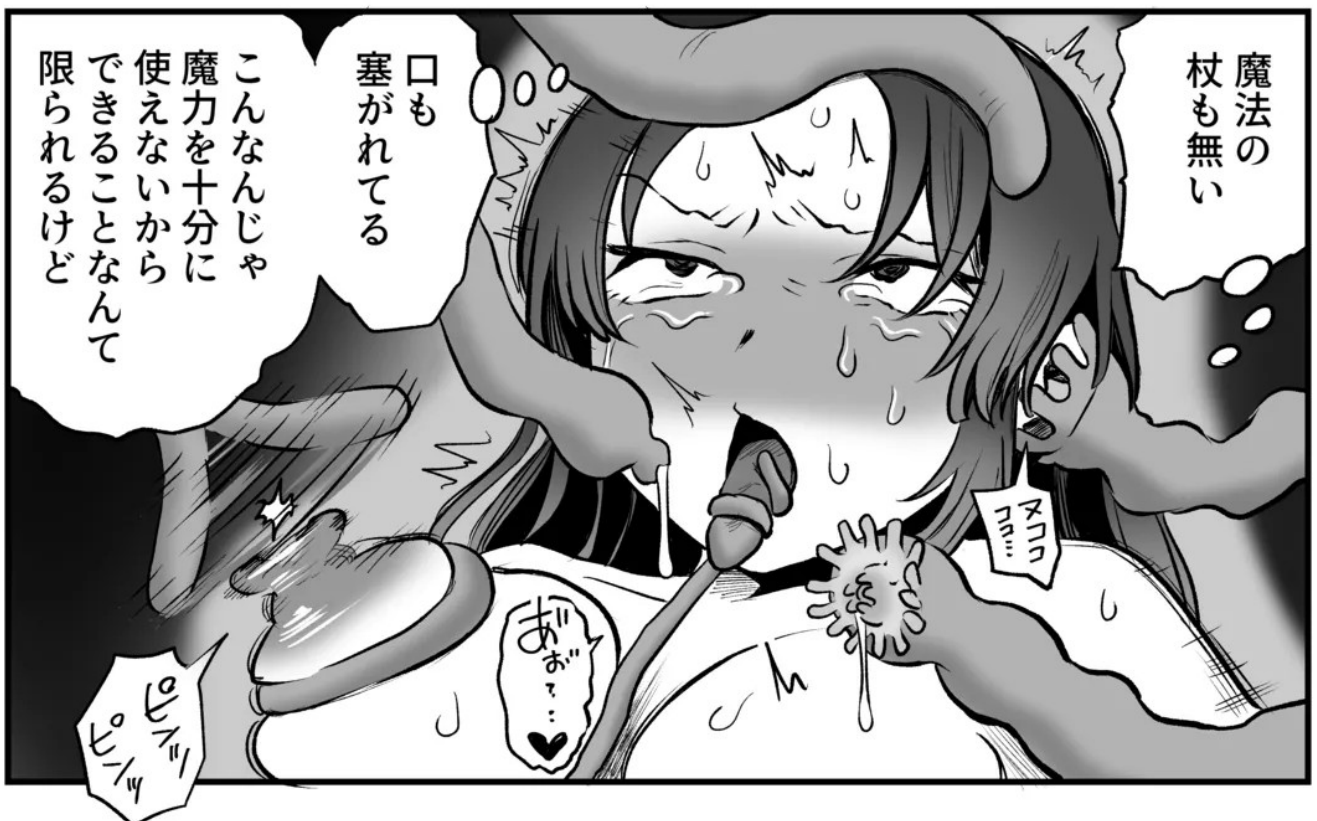
すぐまた
イクツツ

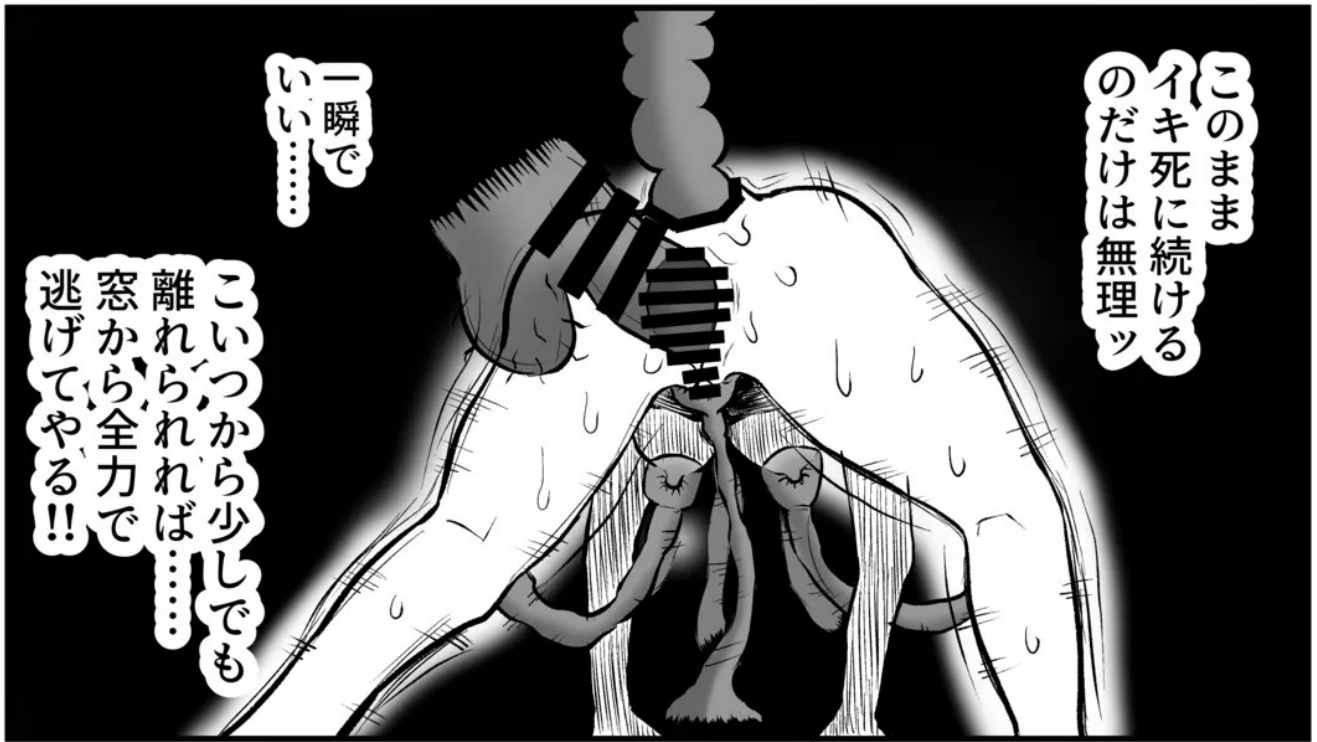
イクツ

イクツツツ





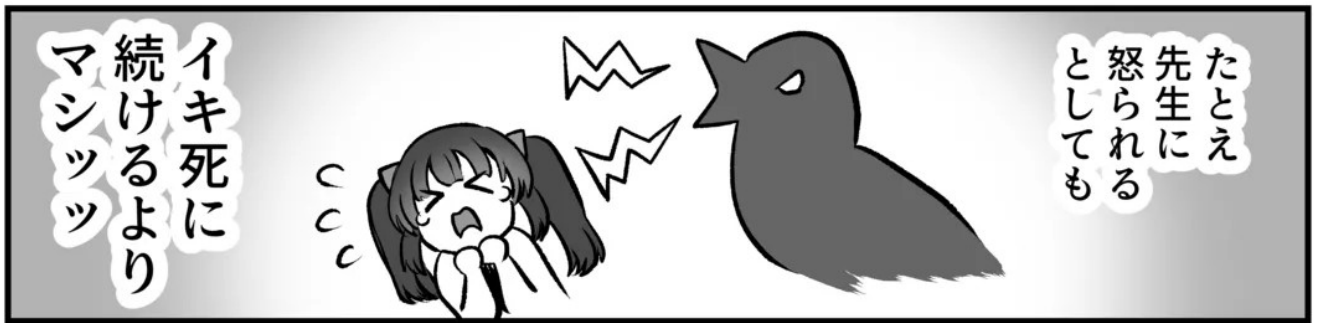




このまま
イキ死に続ける
のだけは無理ッ

一瞬で
ごご……

こいつから少しでも
離れられれば……
窓から全力で
逃げてやる!!



たとえ
先生に
怒られる
としても

イキ死に
続けるより
マシッッ



この
魔法に
賭ける!!



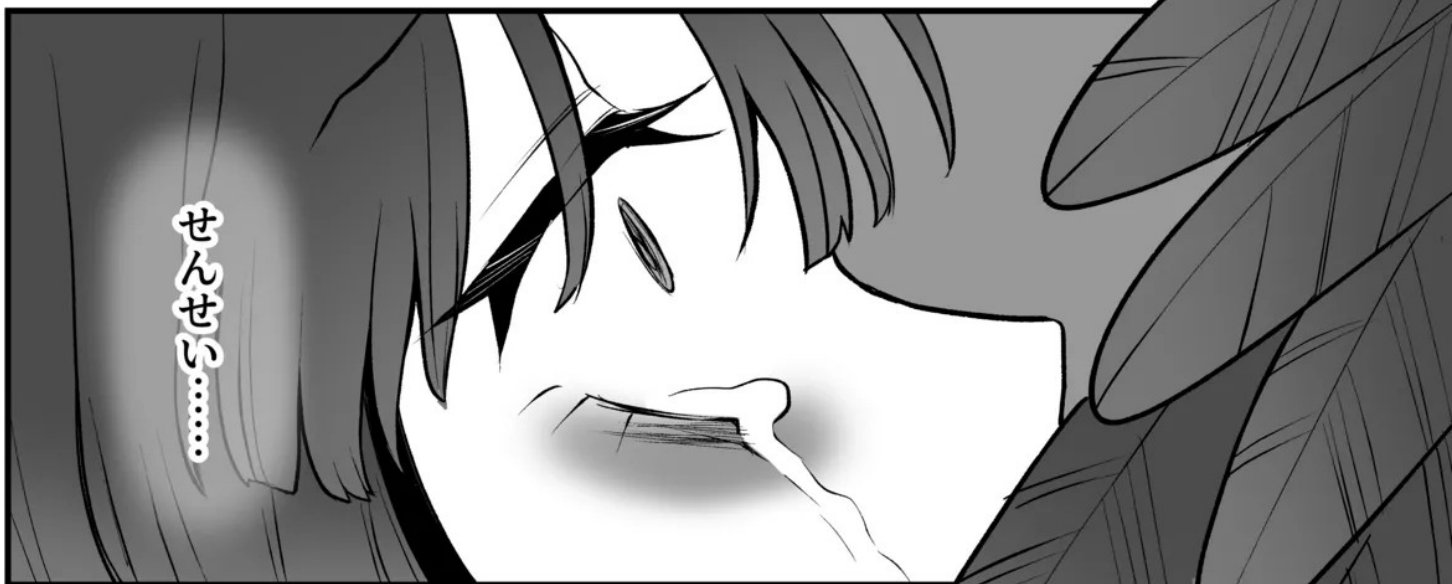
チャンスは
1回

駄目じゃないか
ネンネ

先程の
君の言葉は
なんだったんだ？



せんせい……



最後まで

責任を
持つんだ



クゥ



キゥ



ゲオオ

キ

キ



このままッ

本当に止まってくれないんだ...

許してくれないんだッ



耳も

舌も

おへそも

目も

喉も

乳首も

大事なところも

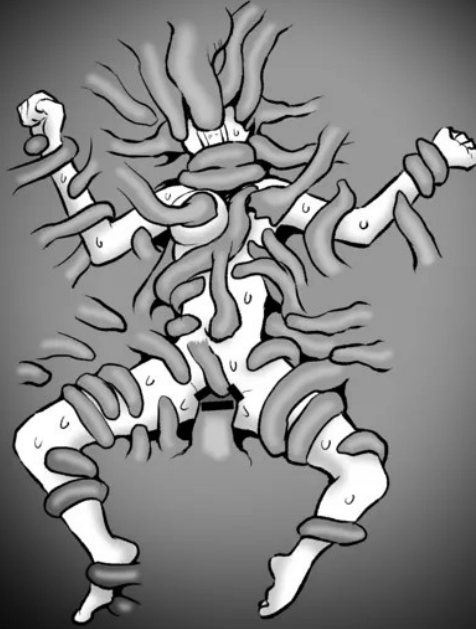
おしりも

クリも

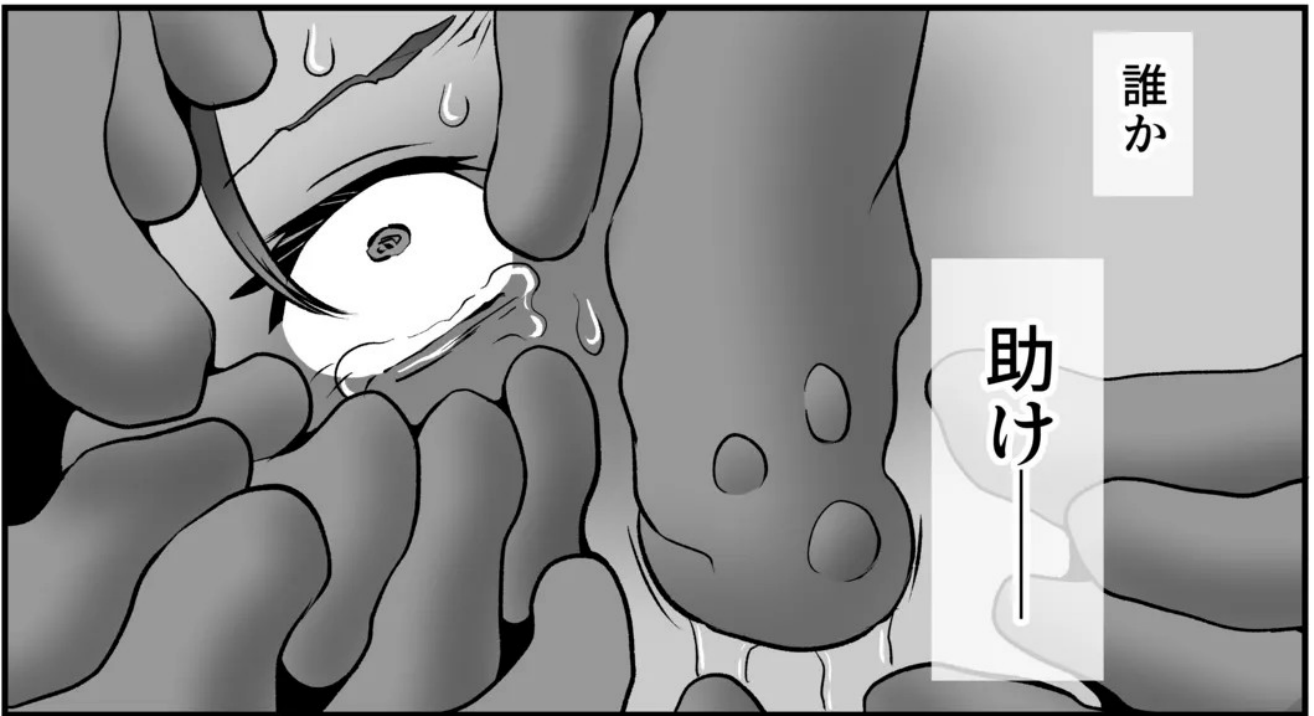
全部全部蹂躪されて

本当に

本当に
全部終わるまで

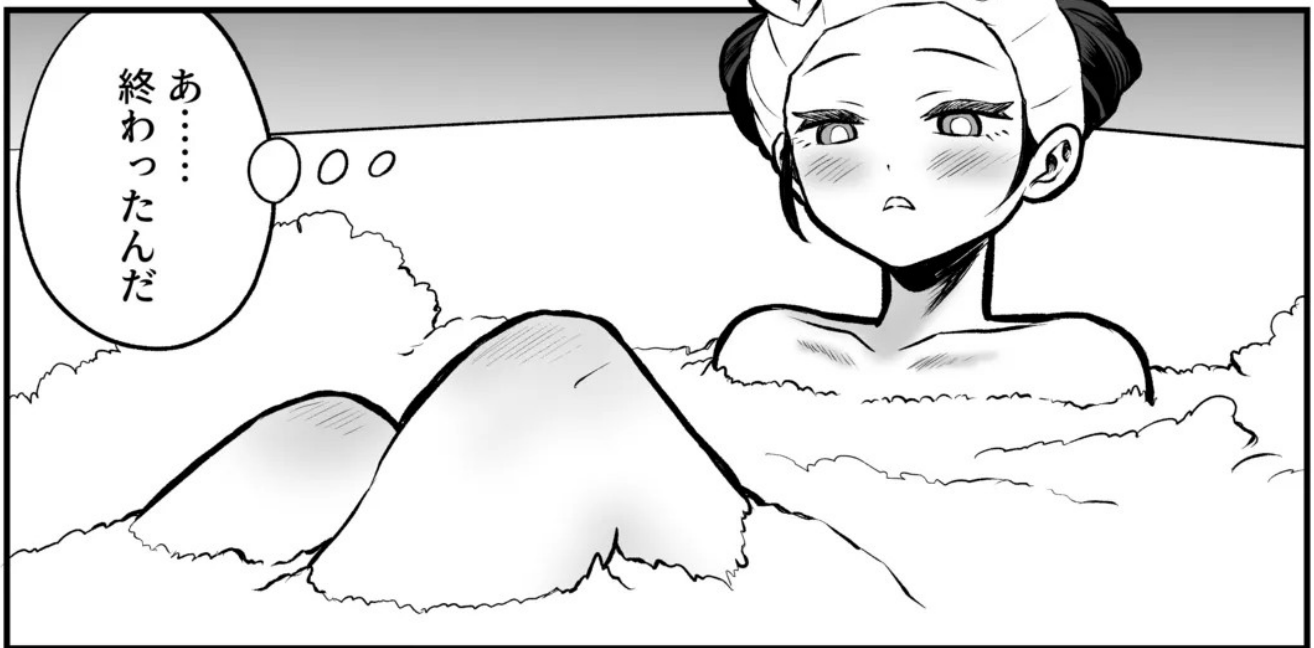
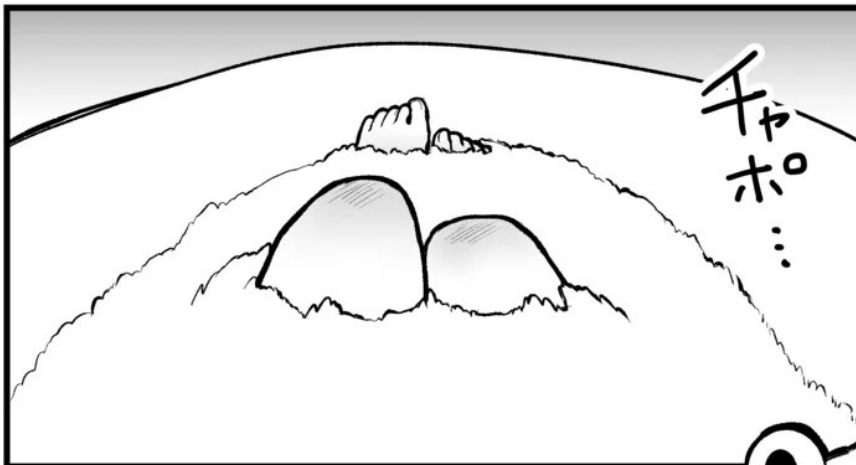


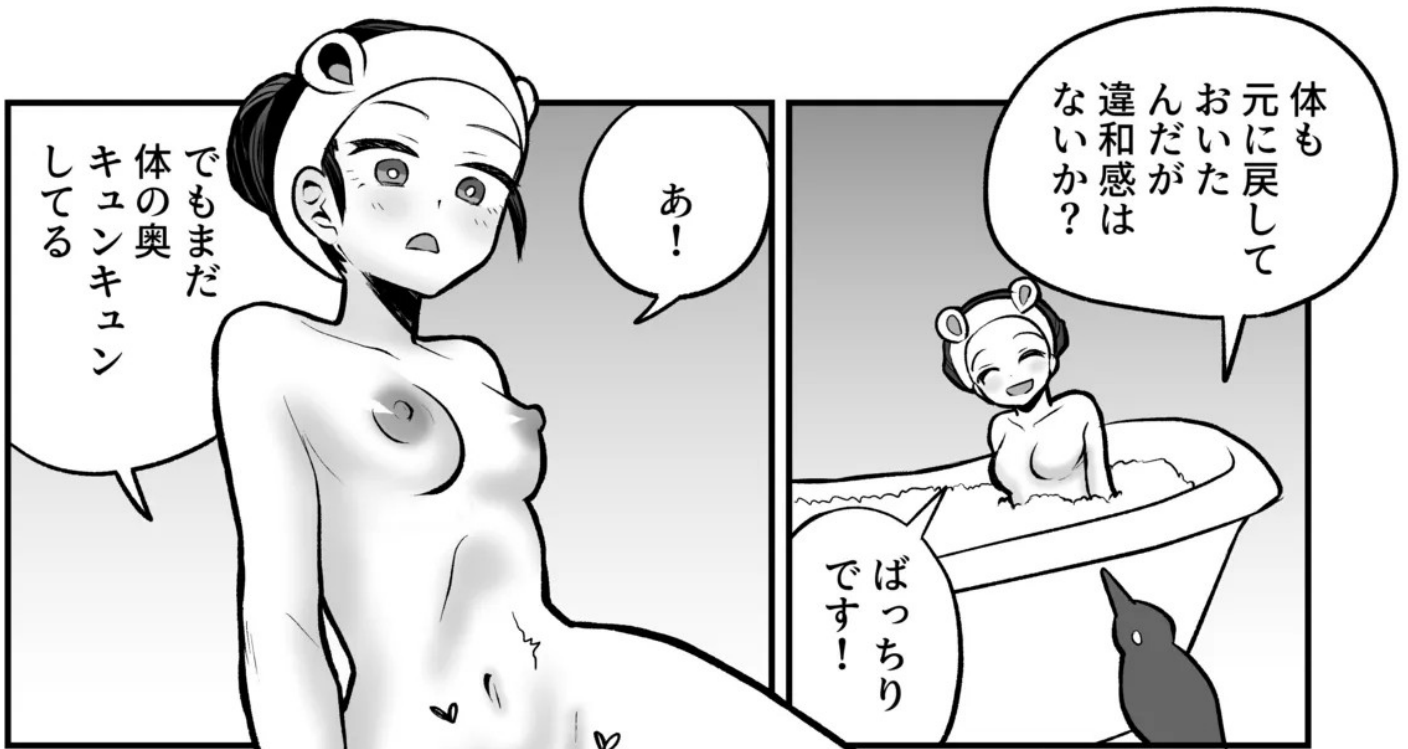
終わらないんだ



誰か

助け





そう言うと思って
淫魔獣を
下界の者に合わせて
作り直しておいたぞ

わー♪
これこれ♪

内部構造も
しっかり
確認しておけ

はーい
後学のため



ってこれ
私が作ったやつより
中グロいこと
なってません!?



ふふ
外見は無害
そうに見えて
内に凶悪なものを
秘めている

という
コンセプトは
なかなかいいと
思っ

採用させて
もらった

ちがーう!!

私がやりたかったの
そんなコンセプトじゃ
ないもん!!





ふあー
ねむ



下界へ
いってらっしゃい♪

それじゃ
君たち!

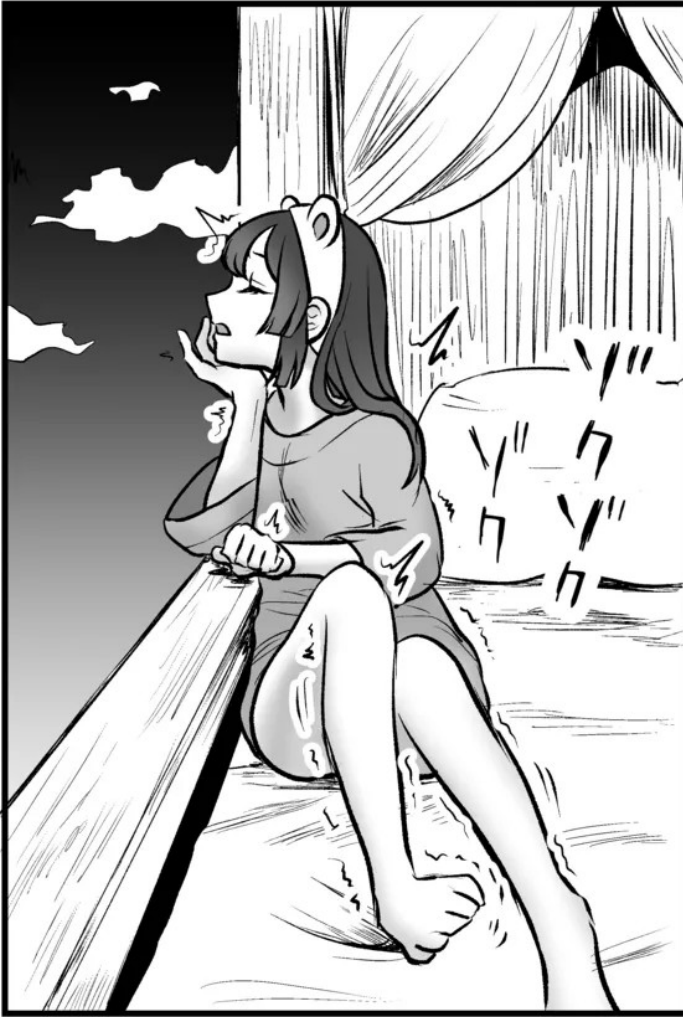


ふふ

今まで
かわいい子ばかり
送ってたから

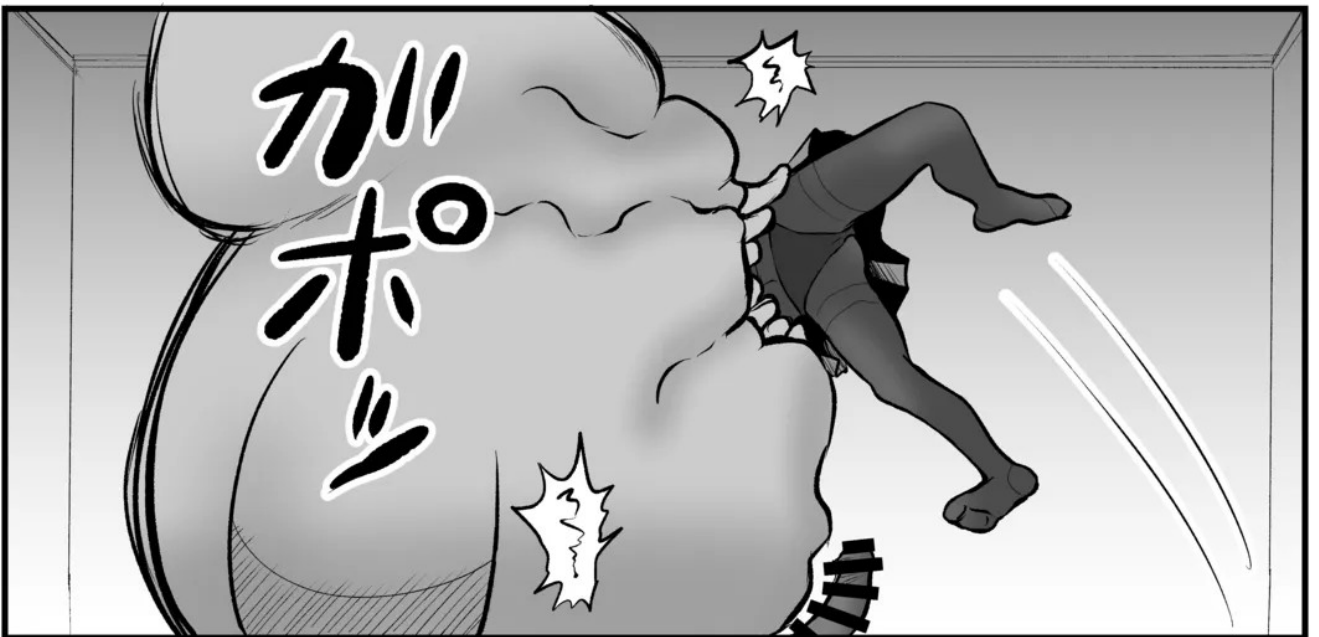
ちんぽのギャップで
下界のコ達
イチコロじゃない?





次はどんな子

作ろっか
なー♪





おっ
おっ

おっ
おっ

おっ
おっ



下界のコ達も
喜んでくれるよね♪

きつとまた

おっ
おっ

おっ
おっ

おっ
おっ

おっ
おっ

おまけ ～世界観～

魔法界



みんな
魔法が使えるよ

ほとんどが真面目な魔法使いなんだ

今作の主人公は魔法界のしたっぱだよ

主人公がきまぐれで下界に
ちょっかいを出している(善意)ことに

お咎めなしどころか、他の魔法使いから興味も
持たれてないよ

下界

魔法なんて無いと一般人は思っているよ

ある時から世界中の人達が

淫魔獣に襲われるようになったんだ

実は下界の人間の中にも魔法が使える
人が少しいたんだ

それが「魔法少女」

彼女達は魔法界があるのを知らないよ

魔法少女達は主人公が生み出した淫魔獣と
終わりの見えない戦いを続けているよ

